

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社百々 )  
 介護事業所名 ( グループホーム百々豊田 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393000340 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月21日	18台

(1)介護ロボットの使用状況

- ・18室すべてに眠りセンサーを設置。
- ・24時間365日、センサー情報を送受信。
- ・デスクトップPCモニターにて睡眠の状況をリアルタイムで観測および記録を実施。
- ・デスクトップPCモニターは介護職員がいつでも目視できるフロア横に設置。

(2)介護ロボットの導入効果

- ・覚醒状況が把握できることで、予見的な事故防止対応が可能になる。⇒概ね達成できた。
- ・覚醒状況が把握できることで、朝の起床時に個々に応じたフロア誘導が可能になる。⇒概ね達成できた。
- ・入居者様の健康状態を把握するうえで、貴重なデータを収集することが可能になる。⇒概ね達成できた。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和4年12月21日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和4年2月16日
ICT機器の製品名	iPhone iPad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	令和4年2月16日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン (すぐろくTablet)
④ 従前の介護職員等の人員体制	(日勤帯) 1ユニット3名体制 (夜勤帯) 1ユニット1名体制
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし) (夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし) (夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
従前の人員体制に変更はないが、業務効率化を促進し「働きがいのある職場づくり」を実現していく。	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
負担軽減が実現することで、残業時間の削減やレクリエーション・傾聴等、入居者様とのコミュニケーション時間の拡充が期待できる。認知症高齢者に対するチームケアの質の向上へと繋げていく。また、入居者様の健康状態を管理し、安全・安心な生活を確保していく。	

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・職場環境整備による安定した介護人材確保
- ・業務負担軽減によるチームケアの質の向上

別添1 (介護ロボット用)

### 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 碧晴会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム川口結いの家 )  
介護保険事業所番号 ( 2372800470 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	パラマウントベッド社 エスバシ ア3モーター電動ベッド(KA- N1481F)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月19日	10台

#### (1)介護ロボットの使用状況

センサー内蔵式のベッドとナースコールを連動させ、各居室に配置。  
見守りセンサーを稼働させ見守りを行っている。

#### (2)介護ロボットの導入効果

見守りセンサーがベッドに内蔵されているため、誤作動も少なく正確な体動検知がなされる。かけつけが早くなったことにより、ベッドサイドでの転倒リスクの軽減につながっている。  
また、事故の起こりやすい時間帯の把握が可能であり、事故対策に活用することができている。それにより、夜間時間帯での見守り業務が効率化され、介護職員の負担が軽減されている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人豊生会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム彩幸 )  
 介護保険事業所番号 ( 2372000303 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	ハ・イソルハ・aams

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月14日	26台

## (1)介護ロボットの使用状況

特別養護老人ホーム彩幸 入所者26名のベッドに設置

## (2)介護ロボットの導入効果

導入してから、居室の様子を遠隔で確認が出来るようになった為、職員の訪室する回数が大幅に減りました。従来のセンサーでは、アラートが鳴ったら訪室して様子確認するしか方法がなかった所、今回aamsを導入したことにより、手元のスマートフォンで居室の様子を確認する事が出来るようになりました。これにより利用者様は眠りを妨げられることがなくなり、職員も精神的に大幅な余裕が出来ました。また、睡眠状態のデータからケアの方法を考えたりと、様々な面で有効に活用する事が出来ています。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人財団愛泉会 )  
介護事業所名 ( 老人保健施設愛泉館 )  
介護保険事業所番号 ( 2354980001 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月7日	48台

## (1) 介護ロボットの使用状況

入所ベッド48床に眠りスキャンを設置し、利用者の夜間の睡眠状態の把握に利用。  
ナースコールが使用できない利用者の、ベッドからの立ち上がりや、移乗時の転倒予防に使用している。  
収集されたデータを蓄積し、介護の質の向上に活用している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

離れた場所から利用者の状態をリアルタイムで確認することができる。  
利用者の状態をデータとして蓄積することができる。  
利用者の転倒者、予期せぬ行動を検知したとき迅速に介護従事者がアプローチすることができる。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月7日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月7日
ICT機器の製品名	(新規)スマートフォン 富士通ARROWS BZ02 (現行)インカム 無線機 ICOM IC-4110

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和3年1月31日
介護記録ソフトの製品名	株式会社レゾナ i-MEDIC

④ 従前の介護職員等の人員体制	20.5
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	19.5
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	19.5
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーから得られた情報をスマートフォンで確認し、インカムを使用し介護従事者間で情報を共有を行う。  
見守りセンサーの利用者情報を蓄積し介護の質の向上に活用できている。  
介護従事者の業務の効率化を図ることができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者の状態をリアルタイムでパソコン、スマートフォンで確認することが可能なため、居室への訪問回数を減らしながらも、利用者の転倒、予期せぬ行動を迅速に把握し対応することができる。  
介護従事者の負担軽減と共に、利用者のプライバシーを守ることが可能となる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

通信環境の整備、見守りセンサーの導入によって、夜勤休憩の質の向上や訪室回数の減少、重大事故の軽減効果や、スタッフの身体的・精神的負担が軽減により離職数も減少が期待できる。また見守りセンサーの効果として、利用者の睡眠状態を把握・分析することで、個人に合った眠りを誘導することが期待できる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人すいと福祉会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム第2ふぁみりい憩苑 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393600065 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
R5年2月15日	27台

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・特定の居室に設置して使用している。
- ・ユニットに配置されているパソコンやiPadを利用して入居者様の睡眠状況や覚醒状況の把握、分析に使用している。
- ・離床センサー機能もあるため、睡眠状況だけではなくセンサー機能としても活用できている。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・心拍数、呼吸数、動作状況をリアルタイムで把握でき、業務の効率化に繋がっている。
- ・これまでは睡眠状況の有無に関わらず定時訪室などで入眠を妨げてしまう事があったが、導入により睡眠状況を把握でき入居者様の安眠にもつながった。
- ・リアルタイムでベッド上の動きが把握できるため、職員の過度な訪室回数が減少した。
- ・睡眠や覚醒データを把握することにより、その方の睡眠リズムを把握する事ができ、安眠だけではなく職員の業務効率化につながった。
- ・看取り期の入居者様についてもスタッフの精神的な安心感を得られている。
- ・睡眠データの蓄積を分析できるようになり、日々のケアの参考になっている。
- ・呼吸数でのアラートが体調不良と連動しているため、体調把握しやすい。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和3年2月24日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和3年3月12日
ICT機器の製品名	iPad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	令和3年3月12日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンIDC ケア記録オプション
④ 従前の介護職員等の人員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に早番、日勤、遅番、夜勤のシフト制で2時間毎の定時巡視。夜勤職員が1人になる夜勤帯には特に精神的かつ肉体的にも負担が大きい。</li> <li>・入居者様の重度化により直接介護業務が増加し、見守り職員確保が困難になりつつあった。</li> </ul>
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臥床時間中の定時訪問を見直す事により、業務に余裕が生まれ、巡視業務の人員負担を全体で常勤換算0.4人程度の軽減が見込まれた。</li> </ul>
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤職員の人数は最低基準もあり変更無いが、昼間は入居者様と触れ合う時間の増加につながった。しかし、直接巡視は減ったものの、眠りSCANの「離床検知、覚醒検知」など反応があると積極的に訪室しており、職員の実働時間は大幅には減らなかったが、事故等の予防や職員の安心感に繋がっている。</li> </ul>
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時訪室は減ったが、眠りSCANの「離床検知・覚醒検知」による反応での訪室は増加した。</li> </ul>
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内にてパソコンモニター越しに利用者様を見守ることにより、訪室することなく利用者様の睡眠状況を把握でき、「熟睡している時は訪室しない」などオペレーションを変更した。</li> <li>・居室で過ごす利用者の「睡眠・覚醒・起き上がり、離床」と臥床時の心拍数と呼吸数をリアルタイムで確認でき、覚醒者への対応を早急にするなどケアの優先順位を立てる事により、職員が効率的に業務でき事故リスクの低下にもつながった。</li> <li>・睡眠状況を記録作成時に何度も記録を転記する必要があったが、介護記録の電子化を行い情報の一元管理を行う事で、記録作成の負担が軽減。また、職員間での入居者情報の共有が可能となった。</li> <li>・介護業務の中での多忙な時間帯の把握と効率化につながった。</li> </ul>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは定時巡視や定時のおむつ交換をすることにより、入眠中の利用者様を起こしてしまいケアの質低下を招いていたが、眠りSCANの活用により、入居者の睡眠状況がリアルタイムで把握でき、最適なタイミングでの訪室や介入ができるようになった。これにより利用者様スタッフ共にメリットが大きい。</li> <li>・日々の睡眠状況を把握し、睡眠直前のおむつ交換をしないなど、利用者の状況に応じたケアを行う事ができる。これにより熟睡できる利用者様の増加に繋がっている。</li> <li>・これまでは休憩中にもコール対応する事があったが、睡眠状況の可視化により睡眠パターンや生活リズムの把握ができ、職員の休憩時間の確保や精神的にも身体的にも負担軽減となっている。</li> <li>・臥床している利用者の心拍数や呼吸数も検知してアラート対応もできるため、バイタルサインの変化や心肺停止状態など、急な体調変化にも対応できる。</li> <li>・個人の睡眠状況を把握することで、日中と夜間に適したケアプランの作成につながる。</li> </ul>	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤帯を中心とした職員の精神的負担の軽減（介護負担による離職者の減少）</li> <li>・利用者様及び家族様への睡眠状況の可視化による説明</li> <li>・バイタルサインの変化、急変時や体調変化の早期発見と転倒などの事故防止</li> <li>・睡眠導入剤や安定剤投与効果の検証</li> <li>・多職種間での情報共有</li> </ul>	

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 有限会社 水車の森 )  
介護事業所名 ( 水車の森 )  
介護保険事業所番号 ( 2375200702 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパシアシリーズ

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月16日	39台

## (1) 介護ロボットの使用状況

ベッドに内蔵された離床CATCHIIIを使用し、利用者様の動きを把握することで、夜間帯を中心とした利用者様の転倒・転落事故の防止を図り、見守りを実施している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

利用者様の動作に応じたセンサー設定が可能な為、より正確な検知が可能になり、センサー誤報による介護職員の駆けつけが減った。特に夜間帯は限られた人数の職員で対応している為、介護職員の心理的及び肉体的な負担軽減になった。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人葆光会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム藤美苑 )  
 介護保険事業所番号 ( 2370100147 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りケアシステムM2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年 (令和4年度) 3月23日	24台

## (1)介護ロボットの使用状況

従来のベッド上センサーと床マットセンサー使用対象のご利用者様に使用している。  
 今回の介護ロボットには4つのモード (動き出し、起き上がり、端座位、離床) が搭載されている為、利用者様のADLに合わせて11人の利用者様を対象に常時使用している。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・ベッド上センサーを使用していた利用者様に関してはこれまでは誤作動も多く、誤作動による無駄な訪室が減り時間の短縮に繋がった。また、ご利用者様の持続睡眠ができ安眠確保につながった。
- ・4段階のモード (動き出し、起き上がり、端座位、離床) それぞれに3段階の感度が決められる為、様々な状態の利用者のシチュエーションほぼ全てに対応できておりケアプランも立て易くなった。職員のセンサー対応が早くなり事故のリスクも軽減、トイレへの対応も早めに対応できるようになった。
- ・センサーコードによる事故のリスクが無くなった。コードの管理も必要無くなった為職員の介護時間の短縮に繋がった。
- ・職員の過度な訪室や見守りが減少し精神的負担が減った。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年（令和4年度）3月23日
見守りセンサーの製品名	見守りケアシステムM2（FBR-N135W1/M2）フランスベッド

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	導入済み
ICT機器の製品名	PHS スマートフォン タブレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	導入済み
介護記録ソフトの製品名	スマイルワン

④ 従前の介護職員等の人員体制	介護正職25名 パート10名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	介護正職25名 パート10名
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	介護正職25名 パート10名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

施設内PHSや各職員の端末と施設のタブレット等によるラインワークスにより情報の共有を行っている。また介護ソフト導入により、利用者の情報を各部署で把握出来るようにしている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

誤作動による無駄な訪室が減り、職員の時間短縮と仕事の効率化・負担軽減が図れている。また、ご利用者様は持続睡眠ができ安眠確保につながった。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

職員の負担が減り、体力的にも精神的にもゆとりを持って働くことが出来るようになり、年齢性別に限らず業務に就くことが出来るようになった。また離職する職員も減っている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人楠会 )  
介護事業所名 ( 介護老人保健施設サン・くすのき )  
介護保険事業所番号 ( 2350380008 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	メーティスPRO、エスパシアシリーズ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月23日	メーティスPRO 70台、エスパシアシリーズ 30台

## (1) 介護ロボットの使用状況

・利用者様の状態に合わせた設定を各々行い、導入した全台を使用している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

・利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床時により正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少した。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月23日
見守りセンサーの製品名	メーティスPRO、エスパシアシリーズの離床キャッチ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年2月14日
ICT機器の製品名	ケアパレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成31年4月22日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制	介護職員36人
-----------------	---------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	介護職員35人
--	---------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	介護職員34人
--------------------------	---------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	退職、部署異動によるため
------------------	--------------

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサーによって身体的、精神的負担が軽減され、タブレット、介護記録ソフトを活用して記録時間を削減することにより、日勤帯での人員体制が効率化できる

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・人員体制を効率化できることによって、利用者様と関わる時間が増え、より丁寧な対応が可能になる。また、業務に追われることが無くなるので休憩時間が確保され、職員の身体的、精神的負担が軽減できる

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・身体的、精神的負担の軽減により離職抑制効果も期待できる

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社いぶきの会 )  
介護事業所名 ( 混合型特定施設いぶき )  
介護保険事業所番号 ( 2372203246 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパシアシリーズ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月21日	56台

## (1)介護ロボットの使用状況

当施設56部屋全てに、離床キャッチ内臓ベッドを導入し、利用者様の必要性に応じた見守りを行っている。

## (2)介護ロボットの導入効果

離床キャッチの設定が「端座位」「起き上がり」「離床」等、利用者様毎に設定ができるため、利用者様毎に必要な見守りを強化できている。後付けのセンサーとは違い、ベッド一体型なので誤作動リスクも軽減されたと思われる。今までのセンサーマットでは対応しきれなかった行動を検知できるので、より早めの職員対応が可能となった為、今まで以上に事故防止につながっている。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月21日
見守りセンサーの製品名	エスパシアシリーズ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2020年7月1日
ICT機器の製品名	KENWOOD UBZ-BM20R

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2015年8月1日
介護記録ソフトの製品名	介護記録システムFTCare-i

④ 従前の介護職員等の人員体制 日勤帯10名(平均) 夜間勤務4名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 日勤帯7名 夜間業務3名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 日勤帯7名 夜間業務3名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由 なし

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・ベッドに内蔵された荷重センサーを使用し、入居者様の行動をリアルタイムで把握することにより、不要な訪室を避ける。
- ・インカムを使用することで、従来の1対1のコミュニケーションではなく、1対複数スタッフでの意思疎通が可能になり、介護導線の低減につなげる。
- ・介護記録ソフト (FTCare-i)を使用することで、記録業務の効率化につなげる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・ベッドに内蔵された荷重センサーを使用し、利用者様の動き(起き上がり/端座位/離床/見守り)を把握することにより、夜間帯を中心とした利用者様の転倒及び転落事故を低減する。
- ・ナースコール通知が発報される為、スタッフルームにいる際も、必要なタイミングに応じた訪室が可能になり、休憩時間の確保につなげる。
- ・インカムを使用することで、利用者様の呼び出しへの対応が早くなり、利用者様のサービス満足度の向上につなげる。
- ・介護記録ソフト (FTCare-i)を使用することにより、記録業務時間の短縮をし、利用者様へのケアにあたる時間を増やす。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

離床キャッチのセンサーにより利用者様の行動をいち早くナースコールで知ることができ今まで以上に早期対応が可能となり、インカムの活用で、職員間の連携を密に行い、利用者対応、記録がよりスピーディーに行うことができるようになった。離床キャッチは導入間もない為、慣れてこれば更なる業務の効率化が期待できると思われる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人米津会 )  
 介護事業所名 ( 介護付有料老人ホームシルヴィー西尾 )  
 介護保険事業所番号 ( 2373200605 )  
 サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023/1/25	40台

## (1) 介護ロボットの使用状況

全ご利用者の居室ベッドに設置。  
 ベッド下に設置しているため、ご利用者からの違和感等のクレームは特になし。  
 ご利用者の状態に合わせて個別のアラート設定をすることで、必要な対応が即時わかるようになっている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・睡眠日誌、バイタル記録などが取れていることで、生活リズムなどが根拠のあるデータとして確認できるようになった。(導入前は職員の感覚や記憶に頼る部分があった。)
- ・センサー反応を見ることで訪室タイミングが適切に取れるようになった。(睡眠中のご利用者の部屋へ訪室することがなくなった。)
- ・看取りに入ったご利用者の急なバイタル変化がアラートで感知でき、迅速なケア対応を行うことが出来た。
- ・定時訪室の頻度を減らしたので、夜勤職員の身体/精神の負担が軽減された。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/1/25
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN NN-1520

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/3/11
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/3/11
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制

- ・日勤帯 最低基準に加えて配置する人員を、利用者2人に対して職員1名としている。
- ・夜勤帯 最低基準の人員配置。

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

- ・④に同じ。人員体制は変更せず。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

- ・計画予定通り。人員体制は変更せず。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー等を導入後も職員の配置人数の変更は行わない。
- ただし、センサーを活用することで見守り要員となっている職員の比率を下げ、見守り時間に割いていた部分を、記録作成業務に専従できる時間へ転換することで、残業時間の短縮を図ることや、レクリエーションなどへの計画/準備時間に転換することでご利用者へのケア以外の楽しみの充実化を図っていく。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・定時訪室の頻度を2-3割ほど低減し、センサーによる離床/起床などの情報をもとに訪室し介助に繋げることで、ご利用者と職員の相互のストレスや負担の軽減を行う。
- ・日々や看取り期のバイタルサインの把握/異常の早期発見に繋げ、適切な対応を行う。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・定時訪室の頻度を減らしたことで職員の負担が軽減された。
- ・看取り期のご利用者において、急なバイタル変化を感知でき、早期対応することが出来た。
- ・1ヶ月以上の記録が取得出来ているご利用者には、各種計画書などの作成時の根拠資料として使用することが出来ている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 十和の会 )  
介護事業所名 ( にじいろあすなろ )  
介護保険事業所番号 ( 2397500071 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月25日	5

## (1) 介護ロボットの使用状況

ベッドからの転倒・転落リスクが高い方を中心に入居者さまを選定し、各居室に配置。  
入居者さまの状況に合わせてセンサーを稼働させ、見守りを開始した。

## (2) 介護ロボットの導入効果

睡眠状況の把握を行うことにより、トイレ誘導と巡回を必要時に必要な回数を行うことに繋がっており、転倒・転落のリスク軽減ができています。  
体動を感知することで事故を未然に防ぐことで特に夜勤時間帯の職員の負担軽減に繋がっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/1/25
見守りセンサーの製品名	見守りライフ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/2/1
ICT機器の製品名	アップルWi-Fi 32G 10.2インチ ipad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/2/1
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンIDCシステム一式

④ 従前の介護職員等の人員体制  
日勤帯6名、夜勤帯2名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制  
日勤帯5名、夜勤帯2名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制  
日勤帯5名、夜勤帯2名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・日々状況が変化する入居者さまの情報をタブレット端末で確認できることから、最新の情報が職員間で共有でき、仕事を効率的に進めることが出来る。  
・見守り機器にてタブレット端末等で複数人のリアルタイムな状態を表示できることから、入居者様の生活状態が把握、必要時の訪室と夜間帯の巡視タイミングを感知できる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守り機器にてタブレット端末で複数人のリアルタイムな状態を把握できることにより、不必要な訪室を軽減できるため、入居者様と個別に関わる時間を増やせ、コミュニケーションを取ることで、ケアと生活の質を向上する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・見守り機器により転倒転落を防止、察知できることから、見守りに関する負担が軽減され、介護職員が安心して業務等に従事することができ、身体的、精神的負担の軽減を図る。また、業務軽減により、介護職員の離職を防止する。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人知多学園 )

介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム論地がるてん )

介護保険事業所番号 ( 2394600031 )

サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月24日	10

## (1)介護ロボットの使用状況

10人の利用者様に対し見守りライフを設置し運用を開始。  
1名の方が体動が離床するおそれなくなりセンサーを撤去したため現在9名の利用者にて設置をしている。  
特に職員が少なくなる夜間帯に活用。ベッド上での体動の確認をステーションのPCにて行っている。

## (2)介護ロボットの導入効果

主に夜勤職員の負担軽減のために見守りライフを導入したが、各居室での利用者様の動きをステーションにて確認ができるため、訪室回数を減らすことができ身体的負担軽減ができている。また、少人数での夜間帯の業務は精神的にも負担となるが、利用者様の状態を把握できていることにより負担軽減につながっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月24日
見守りセンサーの製品名	見守りライフ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/2/14
ICT機器の製品名	iPAD mini

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/2/14
介護記録ソフトの製品名	ケアカルテ

④ 従前の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.6名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 常勤介護職員12名、非常勤介護職員5名、常勤換算14.7名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.0名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由 人事異動による

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー：見守りライフによりナースコール＝訪室でなく、ナースコール＝端末・PCで状況確認し必要に応じて訪室、の対応となり、動線の効率化を図っている。  
 ICT：iPADにて情報の確認を行い、業務の効率化を図っている。  
 介護ソフト：記録の共有が素早く行えるため、人から人へ伝える時間の省力化をしている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

ケアの質の点では、人員・業務の効率化・省力化により、利用者へか関わる時間を増やせるようにしている。導入し数か月のため評価が難しいが、定期的に職員会議で介護ロボット導入による効果を確認していく。機器エラーにより、精神的不安がでていいるがあくまで職員のサポートのためのロボットであるという認識を持つ必要がある。機器トラブルへの早期対応をしている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

特に職員の少ない夜間帯は職員の身体的負担・精神的負担が大きい。それらをサポートする形で適切に介護ロボットを使用していくことで負担軽減につながる。負担軽減により、職員の離職を防ぎ安定した施設運営につながっていくと考える。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 鳳寿会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホームくるみ荘 )  
 介護保険事業所番号 ( 2376400046 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和 5年 1月 30日	5台

(1) 介護ロボットの使用状況
○補助金決定通知後、Wifi設置工事の実施後に導入。 ○利用者様の睡眠状況に合わせ、見守り業務、排泄のケアの軽減。 ○画像としてデータ蓄積されており、転倒等の状況確認にも利用。

(2) 介護ロボットの導入効果
○利用者様の睡眠状況に合わせ、見守り業務、排泄のケアの軽減が出来る。 (巡視回数 10回→5回) ○居室内での転倒事故件数削減。(20%削減)



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社ケアベルデ )  
介護事業所名 ( ベルデ名古屋栄生 )  
介護保険事業所番号 ( 2370400653 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月24日	45台

## (1)介護ロボットの使用状況

眠りSCANを全居室(45台)に設置し、利用者の睡眠の状況を確認。  
24時間365日 見守りに活用している。  
ベッド上にいるが、睡眠出来ていない方の把握。夜間居室内の活動による転倒防止に繋がっている。

## (2)介護ロボットの導入効果

- 体動の状況が分かる事で、無駄な巡視を軽減できた。
- 覚醒状況が分かる為、それに合わせて起床介助の順番を調整でき、スムーズに介助が行えるようになった。
- 睡眠状況に合わせたケアに取り組める事で、その方の睡眠の質が向上。ナースコールで呼ばれる事も減った。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年1月24日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和3年12月1日
ICT機器の製品名	i P a d

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年12月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステムSP

④ 従前の介護職員等の人員体制

介護・看護職員の配置率 2.2 : 1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

介護・看護職員の配置率 2.5 : 1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

介護・看護職員の配置率 2.5 : 1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認する事により、不要な訪室を避ける。  
 ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入居者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことが出来る為、従来の「定時の目配り」から「適宜の訪室」に変えていき、効率化を推進する。  
 ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力する事により、記録業務低減、安全な見守りに繋げる。  
 ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認する事により、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う事により、利用者の睡眠時間を確保する。  
 ・スタッフルームや休憩室にいる間もPC、スマートフォン、タブレット端末にてリアルタイムの各入居者様の情報を確認できるため、休憩時間の確保につながる。  
 ・目配りの方法を「定時の目配り」→「適宜の訪室」に変更する事により、訪室回数を減らし負担軽減につながる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・定時の巡視を廃止出来たことで、無駄な訪室が減り、職員の休憩時間確保と負担軽減につながった。  
 ・覚醒状態に合わせてケアに入れる事で、よりケアがスムーズに進めれるようになり、効率化が図れた。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 高坂福社会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 高坂苑 )  
介護保険事業所番号 ( 2371600137 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023/2/1	140台

## (1)介護ロボットの使用状況

入院者を除く全入所者に使用しており、マスター管理は事務所で行い、通常のモニター監視は各フロアにおいて常時行っている。

## (2)介護ロボットの導入効果

既存のインカムとの連携で、入所者の異常の早期発見と対応がある程度可能となった。夜間に至っても入所者を個別に常時モニターできるので、巡視の回数を削減することができ、結果として職員の負担が軽減できた。また、職員は入所者の睡眠時における体調をモニターする習慣備わり、結果として入所者の健康管理への意識が高まった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/1
見守りセンサーの製品名	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2021/10/28
ICT機器の製品名	無線LANインカム IP100H (アイコム株式会社)

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019/10/1
介護記録ソフトの製品名	介護記録ソフト SmileOne (株式会社プラスワン)

④ 従前の介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.57:1、夜勤者の最長仮眠時間1時間

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.66:1、夜勤者の最長仮眠時間2時間

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.66:1、夜勤者の最長仮眠時間2時間

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーにより可視化された身体状態を分析することで、①スタッフによるバイタル測定をより限定化し、不必要な安否確認の削減。②介護記録ソフトとの連携で睡眠時記録の電子化による、記録業務に係る時間の短縮。③インカム活用によるスタッフ間でのシームレスな情報共有で巡視業務の効率化と個別ケアの充実。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

★ご利用者様のケアの質の向上のために、①定時の訪室を廃止する。②スタッフがタイムリーな対応。③医療職等と睡眠時データを共有し、異常の早期対応に努める。④ご家族様とも情報共有し、事故やトラブルの防止と努める。  
★スタッフの休憩時間の確保と負担軽減等のために、①定時の巡視範囲を共用部のみに限定。②睡眠時記録を自動転記とし、記録業務を削減。③睡眠リズムを把握し、夜間の無駄な排泄ケアを失くす。④睡眠時データを職員間で情報共有し、ケアに活用する。⑤睡眠時データを分析し、医療機関への受診の目安を個別に作成する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

スタッフの身体的及び精神的ストレスが軽減でき、離職率が下がる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人 桂名会 )  
 介護事業所名 ( 名東老人保健施設 )  
 介護保険事業所番号 ( 2351580002 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023. 2. 15	40台

## (1) 介護ロボットの使用状況

40台すべてを利用者のベッドに眠りSCANを設置。利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムに確認することにより、不要な訪室を避けるようにしている。  
 眠りSCANの通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ動くことが出来るため、決まった時間ではなく、個別性に合わせて訪室するようにしている。  
 人員数は変更せず、余剰の時間に対応しきれなかった利用者の対応に時間を充てる等の人員体制の効率化を行い介護の質の向上に繋げていく。

## (2) 介護ロボットの導入効果

眠りSCANのモニタリング機能を活用することにより、利用者の状態、呼吸、心拍が把握でき、不要な訪室を減少することができた。またこれまでは提示で行っていた巡視も、一部だけではあるが、定時ではなく必要に応じて行うことができるようになった。余剰の時間を効果的に利用することについては、また十分ではないが、余剰な時間が出来たことで、職員の精神面への負担軽減に繋がることができている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月14日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2021年10月1日
ICT機器の製品名	ティービーアイ社 クリアトークカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2021年10月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステムSP ケア記録オプション

④ 従前の介護職員等の人員体制

利用者：看護師/介護職員=1.9：1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

変更なし

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

変更なし

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。  
 ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ動くことが出来るため、定時ではなく、個別性に合わせて対応することで効率化を目指す。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、タブレットにて利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室することで、利用者の睡眠時間を確保する。  
 ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC・タブレット、インカムで、リアルタイムな情報を確認することができるため、休憩時間の確保に繋げる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・見守りセンサー「眠りSCAN」の機能である睡眠日誌を活用し、利用者ごとに必要なケアを導き出し、個々に合わせた介入を行う。介入結果は再度睡眠日誌で確認し、PDCAサイクルを行っていく。利用者個々の状態の把握に職員間でばらつきがあるため、統一化を目指す。運用に関しては、より効果的に使用することができるように、「眠りSCAN」の全床導入などを検討していく。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人善樹会 )  
介護事業所名 ( 老人保健施設ウエルネス守山 )  
介護保険事業所番号 ( 2351380015 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボットaams

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年01月18日	7台

## (1)介護ロボットの使用状況

以下の入所者に対して使用し、全てステーションで情報管理している。  
ベッドからの転倒・転落のリスクの高い方、夜間の睡眠状態・呼吸状態を把握したい方、  
体調がすぐれず看護師から体調確認の指示が出た方。

## (2)介護ロボットの導入効果

介護ロボットaamsには起き上がりセンサーが付いており、対象者が起き上がった時点でアラームが鳴る為、既存の離床センサーでは防ぐことができなかったベッドからの転落事故の件数が明らかに減った。  
また、ステーションの中から対象者の呼吸状態と心拍状態が把握できる為、短い時間に何度も居室に伺う回数が減り、職員の精神的、肉体的負担が減った。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人清水会 )  
 介護事業所名 ( 豊明第二老人保健施設 )  
 介護保険事業所番号 ( 2354880011 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月17日	6台

## (1)介護ロボットの使用状況

3フロアで各2台ずつ使用。ターミナルケア、睡眠リズムや排泄リズムの把握をするために使用している。各フロアにあるパソコンで本器を使用している対象者の状況が確認できるようになっている。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・ターミナルケア対象者には、急な状態変化（呼吸数低下や心拍数低下等）をアラートで知らせてくれる。また、データとして記録が残るため職員が対象者の状態把握しやすい。ご家族に対しても、詳細な情報が提供可能となっている。ターミナルケア時のデータを把握することで、職員の精神的な安心や最終段階の時の心の準備が前もってできると感じている。
- ・睡眠については、昼夜逆転している対象者の睡眠状況や覚醒状況を把握し、データ化することで睡眠リズムの解消を行い、睡眠の質の向上へつながっている。
- ・排泄については、日中リハビリパンツ、夜間オムツの対象者に対し、睡眠状況を把握した上で、夜間もリハビリパンツで過ごしてもらい、覚醒時にトイレへとお連れすることで終日トイレ排泄が可能となっている。また、対象者の意欲向上にもつながっている。自宅へ帰る方に対しても、ご家族への情報提供がしやすくなっている。



別添1 (介護ロボット用)

### 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 特定非営利活動法人かくれんぼ )  
介護事業所名 ( グループホームかくれんぼ )  
介護保険事業所番号 ( 2390300057 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眼リスキャン MR-1520 無線遠隔タイプ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月24日	9台

#### (1) 介護ロボットの使用状況

問題なく使用出来ています。

#### (2) 介護ロボットの導入効果

ご利用者様のご様子を24時間見守ることが以前よりも正確に安全に行えるようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年 2月24日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン NN-1520 無線接続タイプ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年 2月27日
ICT機器の製品名	AQUOS SH8HWI

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2023年 2月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT 介護保険

④ 従前の介護職員等の人員体制	3対1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	3対1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	3対1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

業務日誌との連携や各連絡事項等がスムーズに行えるようになった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

夜間のトイレ誘導に声をかける際、心拍数等カメラで確認し、熟睡している様子ならもう少し間隔を開け。るなど時間を有効にしようすることができるようになった。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

ご利用様をカメラで24時間観察することが出来、日中逆転することを防げる事に期待ができる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 あぐりす実の会 )

介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 大地の丘 )

介護保険事業所番号 ( 2375701139 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月16日	3台

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・見守り・看取り対象者を中心に使用し、睡眠の状況、心拍数の把握を行うことにより、適切な介護サービスの実施をする。
- ・介護ロボット機器の効率的な使用により、事故発生率の減少を図り、利用者家族に安心を提供し、介護サービスの向上をすすめるよう使用した。
- ・夜勤帯勤務の職員の労務負担軽減及び心的軽減を図るため、使用を開始した。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・入居者の生活状況(睡眠、覚醒、心拍数、呼吸など)の状態変化を端末で把握でき、早い危険予知により適切な対応がとれるようになった。
- ・眠りの状態を把握し、入居者の睡眠を妨げることなく介護サービスが提供でき、訪問回数が減少した。
- ・介護職員の夜勤時の情報収集が効率的になり、訪問回数の減少により、労務軽減・心的軽減が図れた。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和2年3月
見守りセンサーの製品名	ネオスケア

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年3月
ICT機器の製品名	スマートフォン・アイパッド

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年10月
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのネクスト

④ 従前の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)92人
-----------------	---------------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
--	------------------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
--------------------------	------------------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
------------------	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・令和元年、令和2年の見守りセンサー導入により、職員の居室への訪問回数が減少、労務的・精神的負担軽減への取組。
- ・入居者個々の行動パターンを職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)で共有する。その結果、入居者居室の入室回数の減少、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保する取組を行った。
- ・介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化をすすめた。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者の詳細な行動パターンを職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)情報共有により、食事(趣向と栄養のバランス調整等)、排泄(排泄量・タイミングの把握等)、睡眠(オムツの選定等)など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋げるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

眠りスキヤンの導入により、看取り等対象者の情報収集がより効率的に情報収集できるようになり、データの蓄積、情報の見える化、分析技術の向上により、介護サービスのタイムリーな実施が可能となった。これらにより、介護事業全体のICT化が進み、職員のモチベーションが向上した。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 あぐりす実の会 )

介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 大地の丘 )

介護保険事業所番号 ( 2375701139 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	ネオスケア

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	5台

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・転倒リスクのある方や夜間活動量の多い方、居室の生活が多い方などを対象に使用している。
- ・入居者の行動把握ができるため、適切なタイミングの介助支援に対応できる。
- ・入居者の行動把握により転倒転落の危険予知が可能となり、重大事故を防止できる。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・入居者の生活状況(睡眠、端座位、起き上がり、離床)を端末で一括把握でき、状態変化に素早く対応することにより、早い危険予知ができ、事故発生の減少につながる。
- ・事故発生時に、録画機能の活用により、発生原因の検証、分析が可能となり、情報共有および再発防止につながる。
- ・介護職員の夜勤時の労務軽減、心的ストレス軽減が図れ、職場環境が改善されることにより、介護職の定着率向上とともにモチベーションを向上させることができる。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和2年3月
見守りセンサーの製品名	ネオスケア

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年3月
ICT機器の製品名	スマートフォン・アイパッド

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年10月
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのネクスト

④ 従前の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)92人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

本機は令和元年、令和2年に導入しており、今回は、入居者の重度化を背景とした現場要望による更なる機器の増設である。機器導入による見守りのため居室に行く機会が減った実績もあり、職員の労務的・精神的負担軽減に繋がるとともに、入居者個々の行動パターンの情報が職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)共有できた。その結果、入居者居室のドアの開閉数が減り、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保することが実現できた。また、介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化が進んだ。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者の詳細な行動パターンの職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)情報共有により、食事(趣向と栄養のバランス調整等)、排泄(排泄量・タイミングの把握等)、睡眠(オムツの選定等)など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋がるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。  
これにより、職員の労働時間の短縮、休憩時間の確保をさらに進める。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

見守りセンサーの導入により、利用者介護の的確なサービス提供が促進され、情報共有・データ化・蓄積に繋がる大きな成果が出ている。今後は、さらに機器の拡充をすすめ、介護技術の向上、職員の労働状況の改善をすすめ、働きやすい職場環境作りを目指します。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人さくら福祉事業会 )  
介護事業所名 ( ショートステイさくらレジデンス )  
介護保険事業所番号 ( 2372104683 )  
サービス種別 ( 短期入所生活介護 (単独・併設型) )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月13日	11台

## (1) 介護ロボットの使用状況

認知症を含む疾患により転倒及び転倒リスクの高い方

- ・終末期により、常時観察が必要となった方
  - ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始
- 入所者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している

## (2) 介護ロボットの導入効果

利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった  
終末期の方など常時監視が必要な方でも呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため、職員に安心感を与えることができた。  
ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、リスクマネジメントに有効であった

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人青山里会 )  
 介護事業所名 ( びわじま介護センター )  
 介護保険事業所番号 ( 2390400170 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット 「a a m s」

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和3年12月8日	3

## (1)介護ロボットの使用状況

常時、対象利用者のベッドに設置して、対象利用者の状況を確認できる状態にしている。対象利用者の睡眠と覚醒状況、心拍数、呼吸数等のデータは逐一PCやタブレットに転送され、職員が確認できる状態となっている。対象利用者の状況変化を個別設定することによりPCやタブレットにアラート音を鳴動させることができるため、離れた場所でも職員が確認できる状態。日常的にこれらを活用して、ご利用者の状況把握、アラート音発生時の訪室の要否の判断している。また、事例検討で当該機器のデータを活用し、対象利用者の生活リズムの再構築を図っている。

## (2)介護ロボットの導入効果

当該機器導入前は夜間訪室時に、睡眠中の利用者を覚醒させてしまい、介護の負担が増大することがあったが、当該機器作動時に連動するカメラ (※補助金対象外) で対象利用者の様子を確認して訪室の要否を判断することで訪室回数の減少につながった (対象利用者の安眠阻害防止と介護職員の負担軽減)。また、当該機器のデータと職員が記録した具体的な情報をすり合わせ、考察することで、対象利用者の生活リズムを読み解き、対象利用者にとって適正な生活リズムを図ることができた (令和4年度の法人研究発表会で発表)。総体的に対象利用者の事故リスク低減にも繋がっている。



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社センチュリークリエイティブ )  
介護事業所名 ( 介護付有料老人ホームあみーご倶楽部小牧 )  
介護保険事業所番号 ( 237380160 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams. 介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023/2/24	30台

## (1) 介護ロボットの使用状況

全ての居室 (30室) にて常時使用し、見守りを行っている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

入眠状況を把握することにより、夜間早朝の訪問回数が減少し、利用者様の安眠が確保される。  
また、リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減へつながっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率 3 / 4 の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/24
見守りセンサーの製品名	aams. 介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	不明（導入済み）
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019/10/1
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	13人
-----------------	----------	-------	-----

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	12人
--	----------	-------	-----

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	13人
--------------------------	----------	-------	-----

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入後の経過日数が少なく、まだ効果が出ていない。		
------------------	--------------------------	--	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー導入により、転倒等の事故が起こった場合、即座にスタッフ間の情報共有を図り、記録業務へつなげることができる。  
 スムーズな対応により、職員の負担軽減へつなげ、業務効率化を図る。  
 職員の業務軽減により、質の高いサービス提供を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の体調の変化を即座に察知、スタッフ間の迅速な情報提供により、質の高いサービスを提供することができる。  
 早朝、夜間等の人員配置が減少する場合においても、リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

夜間、早朝の利用者様の変化が察知することにより、訪問回数が減り、利用者様の安眠が確保されることに合わせて、介護職員の労務負担の軽減が期待できる。  
 危険動作の予兆の検知により、転倒事故のリスクを軽減することができる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人長福会 )  
介護事業所名 ( デイパーク大府特別養護老人ホーム )  
介護保険事業所番号 ( 2374200489 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りケアシステム

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月14日	3台

## (1) 介護ロボットの使用状況

見守りケアシステム (FB-033・L-6・30V) M1をデイパーク大府特別養護老人ホームの各居室内に3台分配置し、入居者の動き出しや見守りが必要な方に使用しております。自発的にコールが押せない入居者様・認知症等のご病気の為に無理に離床されようとする入居者様のベットとして利用しております。

## (2) 介護ロボットの導入効果

見守りケアシステム (FB-033・L-6・30V) M1を導入し利用したことで、ベット上で体動の激しい入居者様や無理に起き上がり立ち上がろうとする方の離床行為が事前にセンサーが反応し重大な事故になる前にコミュニケーションが図れ話しを聞く事で落ち着かれその後ゆっくり休まれたり、職員に関しては重大事故が未然に防げて業務の負担軽減につながり又、職員の精神的・身体的な業務ストレスの軽減も図れております。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人寿宝会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム喜寿苑 )  
介護保険事業所番号 ( 2372002481 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月15日	50台

(1)介護ロボットの使用状況
<p>・日中傾眠傾向の方、夜間浅眠の方、新規入所の方で生活リズムの把握をしたい方、自らの訴えが難しい方（ナースコール等の使用が困難な方）、看取り期の方</p> <p>睡眠状態の確認をし、巡視や夜間排泄のタイミングを検討している。睡眠状況から起床、就寝時間の見直し、日中のアプローチを行う。状態の悪い方、看取りの方については呼吸や心拍の確認を行い、状態の把握に努めている。</p>
(2)介護ロボットの導入効果
<p>・夜間の巡視、排泄のタイミングを覚醒時に行うことで、不必要に起こしてしまうことが減り、結果的に介護量を減らすことができる。</p> <p>・就寝、起床のタイミングを知り、その方のリズムに合わせることで、必要以上に就寝や起床を促すことがなくなっている。</p> <p>・看取り期の方の状態確認ができ、職員の不安感の減少が図れている。</p> <p>・カンファレンスや事故対策を多角的に考えられる。</p> <p>・ご自分で夜間トイレに行かれる方の排泄のタイミングが把握でき、必要に応じてピンポイントで見守りが可能になる。</p>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月15日
見守りセンサーの製品名	見守り支援システム「眠りSCAN」

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	導入済
ICT機器の製品名	タブレット型介護記録システムHIMVIT

③介護記録ソフトについて

導入年月日	導入済
介護記録ソフトの製品名	介護事業者支援システム HOPE LifeMark-WINCARE

④ 従前の介護職員等の人員体制

1、6：1  
(利用者：介護職員)

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

1、9：1  
(利用者：介護職員)

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

1、9：1  
(利用者：介護職員)

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・眠りSCANの通知機能を活用し、職員が使用しているタブレットに情報が入ることで、必要な時に迅速な対応ができる。  
 ・眠りSCANのモニターを見ながらタブレットにて介護記録等の入力を行うことで、記録業務の低減、安全な見守りができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・入居者様の生活リズムの把握を行い、適切なタイミングでの対応をすることで、必要以上に起床や就寝を促すことがなくなり、利用者の方の協力も得やすくなるため、介護にかかる時間の短縮を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・見守り業務の効率化により、巡視等にかかる時間の短縮が見込まれ、その他の業務への取組が行いやすくなる。  
 ・事故の減少により入居者様、ご家族、職員の精神的、身体的な負担軽減できる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 清洞会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム ぽんぽこ落合 )  
介護保険事業所番号 ( 2370302842 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月28日	98台

(1) 介護ロボットの使用状況
離床状況の見える化を図る事により職員負担の軽減を目指している。 又、インカムの導入により職員の連絡・連携体制を強化し、利用者の状態把握とケアの向上も 行っている。
(2) 介護ロボットの導入効果
離床介助が必要な利用者に対し目視していたが、見守り機器導入と通信環境整備により、 眠りSCANからの離床の通知がインカムに直接音声メッセージで届くことにより、 いち早く利用者への対応ができるようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月28日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年2月28日
ICT機器の製品名	クリアトークカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年1月31日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制

2.3 : 1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2.8 : 1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

2.3 : 1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入後の期間が短い為、期待する効果を目指している最中である。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・ 緊急時の応援体制が取れるようになるため、加配が不要となる。
- ・ 職員同士が連携を図れるようになるため、夜間の職員の見守り人員配置の削減が見込まれる。
- ・ 申し送りに係る人員配置を1割程度削減できる。又、離床に関する対応時間が短縮でき、ケアの質向上に目を向ける事が可能となると共に、効率良くケア、サービス提供が可能となる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・ 利用者の状態把握により転倒・転落などの事故防止の効果が期待される。又、睡眠状態の把握により、覚醒時の排泄介助やおむつ交換が可能となり、利用者の安眠が確保できる。
- ・ 眠りSCANが判別する情報や緊急時やナースコールに対し、職員同士が連携し対応でき、ユニットから安心して離れる事が可能となり休憩時間を確保でき、精神的な負担の軽減が見込まれる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

導入後の期間が短い為、期待する効果を目指している最中である。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 八起社 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム東和荘 )  
 介護保険事業所番号 ( 2375700180 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月24日	1台

## (1)介護ロボットの使用状況

「眠りSCAN」を静養室対応の見守りが必要な方に使用を目的としたり、ベッドで多動な入所者の観察に利用し、生活状況や職員との情報共有のために活用を目的としている。  
 導入まもないため対象者がいない状況ではあるが、試用の段階では、リアルタイムにパソコンの画面にモニターができ、記録をグラフに表すことで、行動パターンや状態変化の観察ができることが確認できている。

## (2)介護ロボットの導入効果

導入まもないため対象者がいない状況ではあるが、試用の段階では、リアルタイムにパソコンの画面にモニターができることで、頻回に訪室せず入所者に安心感を与えることができることや、記録をグラフに表すことで、行動パターンや状態変化の観察ができることで予測して対応ができ、そういった観点から介護者の心のゆとりを与え、心理的ストレス軽減も期待できる。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月24日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月24日
ICT機器の製品名	インカム ティーピアイ KX-Z837

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年8月1日
介護記録ソフトの製品名	東経システム「福祉見聞録」

④ 従前の介護職員等の人員体制

理者1名(常勤) 医師3名(非常勤) 生活相談員2名(常勤) 看護職員5.7名(常勤換算) 介護職員33.1名(常勤換算) 管理栄養士2名(常勤) 機能訓練指導員1名(常勤兼務) 介護支援専門員1名(兼務) 事務員2名(常勤) 調理員6.1名(常勤換算) 運転手兼補助員2名(非常勤) ※特養80名分及び短期16名分

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

上記に同じ

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

上記に同じ

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANは、体調不良者の見守りターミナルケアに活用。インカムは従来型の施設であるため、広い施設内での職員間のコミュニケーション等に活用し、人探し、物探しに使用する時間を短縮、短縮した時間を職員の休憩時間や、入所者のケアに充てる。また、ケア中の人探し、物探しは転倒転落のリスクにも繋がるため、転倒転落予防の効果も期待するもの。介護ソフトである福祉見聞録は介護ケア記録・看護ケア記録を管理し、全職員が何時でも確認出来るように設置してある。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有し、ケアに当たるのは困難である。そのためのケア記録を電子化し、情報共有をやるシステム作りは、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、情報共有がより密になる。広い施設内をカバーするために、コミュニケーション機器導入することで、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てるもの。介護事故防止の検討の中で、ケア中の転倒転落を予防が必須と判断、インカムの活用で協力要請等で未然に防げれば、事後報告等に不随する時間も短縮できる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有に活用することには有効。電子化での情報共有は、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、今後情報共有がより密になることを期待している。インカムは広い施設内をカバーするためにの機器として、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てられることを実感している。ケア中の転倒転落予防にも効果を実感し、インカムの活用で協力要請等で未然に防いでいる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 愛知メディカルサービス株式会社 )  
介護事業所名 ( ソレイユ千種 )  
介護保険事業所番号 ( 2370101368 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	みまもりベッドセンサーシステム

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月13日	10台

## (1)介護ロボットの使用状況

センサーマット等からの切り替えもあり、10台すべて使用している状況 (4階で4台、3階で3台、2階で3台)

## (2)介護ロボットの導入効果

使用開始から1カ月半が経過し、職員の機器に対する苦手意識が無くなり、自分達なりに転倒防止ツールとして理解を深めてきているように見える。見守り方法の詳細設定ができるため、設定を何度も見直し、ようやく転倒防止につながった例も見られた。遠隔でのモニター確認ができるため、ステーションにいなくても状態確認が出来、職員の無駄な動きが削減された。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月13日
見守りセンサーの製品名	みまもりベッドセンサーシステム

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月25日
ICT機器の製品名	iPad、NEC LAVIE Tab

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年3月25日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制

各フロア日勤帯は2~4名に加え、機能訓練員、ケアマネージャー、看護師が介護のサポートを行っている。

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

介護職員の業務負担が減る事で、他職種のスタッフが本来の業務に従事できる。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

介護職員の業務負担が減る事で、他職種のスタッフが本来の業務に従事できるようになってきている。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

タブレット端末を見守りセンサーの入居者の状況把握をするモニターとして活用することで、離れた場所からも状況把握が可能になり、無駄な訪室回数が減少した。また、介護記録をタブレット端末で入力できるようになり、記録のためにステーションへ移動する時間の節約につながっている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守り方法の詳細設定ができるため、入居者のベッドからの転倒リスクが軽減した
- ・夜勤帯など人員配置が少ない時間帯での無駄な訪室回数が減少した
- ・見守りセンサー使用者の体重測定時間を削減する

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・入居者の、夜間や午睡の動態を把握することで、体交やおむつ交換、訪室のタイミングを図る
- ・人員の少ない夜間帯での転倒転落リスクを下げ、職員のストレスが軽減する

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (寺定非営利活動法人るんるん)

介護事業所名 (グループホームもうやこ)

介護保険事業所番号 (2392300188)

サービス種別 (認知症対応型共同計生活介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りscan

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	2台

(1)介護ロボットの使用状況
眠り状態の観察に利用
(2)介護ロボットの導入効果
介護時間の軽減や介護負担が減ったという効果は今のところ見られないが、眠りSCANを利用することで、熟睡していると思っていたが、実際は不眠の状態だとわかり利用者様の理解にてなっている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 杉友商事株式会社 )  
介護事業所名 ( グループホームふれんど )  
介護保険事業所番号 ( 2371600426 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN(NN-1120)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
R5年2月26日	27

## (1)介護ロボットの使用状況

常時作動させ、適時確認をして、見守りをしている。

## (2)介護ロボットの導入効果

居室まで確認しに行かなくても安否確認ができ、移動時間の分、他の見守り等の業務が強化出来ている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( なごや福祉施設協会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホームなごやかハウス岳見 )  
介護保険事業所番号 ( 2370800068 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月6日	3台

## (1) 介護ロボットの使用状況

・心肺や呼吸のバイタルサイン、睡眠の状態を把握し、入所者支援を効率化し、職員の負担軽減を図っている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

・バイタルサインを詳細に把握することにより、看取り対応時などにデータに基づいた適切な援助の提供ができるようになり、職員の心理的負担が軽減した。  
・ご入所者個々の状況の一元管理が可能となり、職員の身体的・精神的負担が軽減された。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 愛知県厚生事業団 )  
 介護事業所名 ( 愛厚ホーム小牧苑 )  
 介護保険事業所番号 ( 2373800073 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	介護用ベッド KA-N1811F(パライカントベッド) (ベッド内蔵型離床センサー・離床CATCHIII 搭載モデル)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
R5. 1. 18(25台) R5. 2. 8(30台)	55台

## (1)介護ロボットの使用状況

センサーマットからの移行、新入所者やショート利用者等で行動観察が必要な方を中心に使用している。

## (2)介護ロボットの導入効果

センサーマットからの移行により、マットの出し入れ作業の削減、掃除等の環境整備がしやすくなり、マットのスイッチの入れ忘れによる事故を防ぐことも出来る。様々な設定が選択でき、個別の対応をすることで利用者の行動把握がしやすくなった。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人貞徳会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム川名山荘 )  
 介護保険事業所番号 ( 2370701902 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月26日	10台

## (1)介護ロボットの使用状況

・施設(特別養護老人ホーム・ショートステイサービス)内で整備した眠りSCANは、全23台で各ユニットに2台以上を配置して活用している。  
 介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況(在床・心拍・呼吸)やアラート設定(離床・呼吸や心拍の増減)した情報が自動記録できる仕組みとなっている。

## &lt;活用方法&gt;

- ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- ・睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。
- ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- ・看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。
- ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- ・利用者様の安眠が保てるようになった。
- ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- ・呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。
- ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- ・転倒の回数が減少した。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月26日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年1月24日
ICT機器の製品名	i p a d

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和3年2月12日
介護記録ソフトの製品名	絆coreクラウド

④ 従前の介護職員等の人員体制	介護職員：利用者定員／1. 86：1
-----------------	--------------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	介護職員：利用者定員／2：1
--	----------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	介護職員：利用者定員／2. 18：1
--------------------------	--------------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	想定外に病気による長期休職の職員が複数名発生してしまい、全体の職員数が予想以上に減少してしまった。
------------------	---

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANから離床検知や心拍・呼吸数の増減の情報が介護記録ソフトに連動して、自動で記録が入力されることで、特に夜間の個室内で様子が把握しやすくなりました。またiPadやステーションのパソコンモニターでご利用者の睡眠・覚醒・離床状況が把握できる為、他の業務をしながらご利用者の様子を把握できるようになりました。こまめに訪室するのではなく、必要に応じて訪室することにより、隙間時間にバックヤード業務がおこなえる等業務の効率化ができます。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

特に夜間の1人勤務の状況においては、眠りSCANを活用して睡眠・覚醒状況を把握して排泄介助や体位交換の実施、起床介助などにあたります。そうすることでご利用者の睡眠リズムに合わせてケアの提供ができて、ご利用者の安眠の確保できてケアの質の向上に繋がります。同時にご利用者の生活リズムに合わせて、適切な時間帯に休憩時間の確保が出来るようになりました。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

眠りSCANの活用場面をより具体的に定め、マニュアル化して介護ロボット活用を促進し、利用者へエビデンスに基づいたケア提供や接遇の充実化を図りたい。そして、効果的なケア実践を通して、利用者の心身の健康保持による在所期間の延長や利用率、利用者満足度（CS）の向上の実現を目指したい。  
また、利用者満足度の高いケア実践が行えれば、自ずと介護職員のやりがいや達成感も高まり、職員の満足度の向上にも繋がる。これらの成果が、介護の仕事の魅力を生み出し、介護職員の待遇改善を図る形となり、結果的に介護職員の定着や確保、安定した施設運営基盤づくりに寄与される事を期待する。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社マザーズ )  
介護事業所名 ( グループホーム円頓寺北館 )  
介護保険事業所番号 ( 2370401446 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月30日	18台

## (1) 介護ロボットの使用状況

利用者様各居室 (18室) に眠りスキャンを設置し、居室の見守りとして活用中。

## (2) 介護ロボットの導入効果

夜間の訪室回数の軽減、覚醒時の素早いトイレ介助など負担軽減になったと介護者から好評です。睡眠の質や心拍数などをデータで把握でき、データ提示により医師との連携が密になり、医師からも処方にも有効との評価をいただいている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年1月30日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年1月30日
ICT機器の製品名	ipad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年3月15日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制

月間平均労働時間2200時間

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

月間平均労働時間2100時間

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

月間平均労働時間2100時間

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーのデータと介護記録をタブレットから入力しほのぼのNEXTに保管することにより、引継ぎ時間の削減と介護記録の共有がスムーズになった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

心拍数や呼吸数などの睡眠時のデータの蓄積により医師との連携がとりやすくなり、きめ細やかなケアができるようになった。夜間の利用者様の覚醒時の訪室が減ったことにより、職員の休憩がとりやすくなった。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

既に4月から職員の年間の休日数を13日増加し、年間120日休日を実現した。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人 和光会 )  
介護事業所名 ( 介護老人保健施設 清風苑 )  
介護保険事業所番号 ( 2354580009 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン NN-1520

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月18日	3

## (1)介護ロボットの使用状況

前年度に「眠りスキャン」を2台導入し使用した所、スタッフから好評であった為、本年も追加で3台導入した。使用するフロアは、認知症の利用者が大半を占める3階フロアにて毎日24時間使用している状況である。

## (2)介護ロボットの導入効果

・新規の入所者に1週間程度利用する事により、その方の生活リズムをパソコン上のモニターで客観的に把握出来る様になり、利用者毎に応じたケアのかかわり方やアプローチを立案出来る様になった。  
・施設内でターミナルケア（看取り）を実施する際に、眠りスキャンを利用する事により利用者のバイタルサインをスマートフォン等でも確認出来る為、スタッフの訪室回数的大幅な低減につなげる事が出来た。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人ケアマキス )

介護事業所名 ( 特別養護老人ホームケアマキス柴田 )

介護保険事業所番号 ( 2371201985 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月20日	10台

## (1) 介護ロボットの使用状況

眠りSCANを入居して間もない方や夜間に眠れていない方、生活に慣れない方 (不穏、徘徊) の方等に設置してリアルタイムでモニタリングしたり、睡眠データを確認している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

入居して間もない方の睡眠サイクル・生活リズムが把握できたり、夜間のベッドでの状態 (睡眠・覚醒・離床) がリアルタイムで分かることで入居者の次の行動予測につながる面もあり精神的負担の軽減につながっている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人香徳会 )

介護事業所名 ( グループホームよつば )

介護保険事業所番号 ( 2371501251 )

サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りセンサーANSiEL

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月15日	18台

## (1) 介護ロボットの使用状況

- ・ 18台導入中、12台使用中。
- ・ 6台未設置：エアマット使用者およびセンサーを触り、撤去してしまう利用者分のため

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・ 見守りセンサーから端末等にリアルタイムで情報が通知され、転倒・転落があった場合は、早期に対応・予防することが可能となった。
- ・ 介護記録ソフトにデータが転送されるため、個別に入力する必要がなくなった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/3/15
見守りセンサーの製品名	見守りセンサーANSIEL

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023/3/10
ICT機器の製品名	AQUOS wish2

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2021/5/24
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステム すぐろくTabret

④ 従前の介護職員等の人員体制 3:01

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 3:01

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 3:01

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・Wi-Fi環境を整え、見守りセンサーの通知がスマートフォンに通知されることで、夜間少ない人員体制でも効率よく見守り業務ができる。
- ・見守りセンサーが介護記録ソフトと連動することで、介護記録への入力作業が減少した。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者様の睡眠状況を把握することで、適切なタイミングで支援を行える。
- ・転倒、転落が減ることで、入居者様の安心・安全を確保できる。
- ・見守りセンサーが介護記録ソフトと連動することで業務の効率化につながる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・入居者様のQOL向上、個別ケアの充実
- ・見守りセンサーの活用により、職員の心的負担の軽減。
- ・転倒、転落等に早急な対応が可能となり、インシデントを減らすことができる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 幡豆福祉会 )  
介護事業所名 ( 別養護老人ホーム レジデンス寺山 )  
介護保険事業所番号 ( 2393200114 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (NN-1520)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月20日	2台

## (1) 介護ロボットの使用状況

2F, 3Fに眠りスキャンを各1台ずつ対象者を決め設置。ユニットはもとより、看護員室、事務室にモニターを設置し対象者の呼吸状態、脈拍、睡眠の有無等確認しケアに役立てている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

本人がベッドで臥床している時の体調を数値で確認できるので新たな視点でケアできる。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和5年2月20日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN (NN-1520)
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和5年2月20日
ICT機器の製品名	(株) ティービーアイ インカム (WFDI-TC3)
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	以前より導入済み
介護記録ソフトの製品名	エーケービジネス (株) ケアポケットくん
④ 従前の介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤7名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤6名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名 ※余った職員を介護リーダーとして自由に各フロアを行き来できる職員配置にしていきたい。
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤7名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	まだ、インカムを活用した職員連携が十分に出来ていないためさらに連携強化してから取り組んでいく為。 コロナ感染により介護職員の出勤人数が不安定になる時があり人員体制が定まらなかった。
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離床センサー (眠りスキャン) が鳴った場合、ピッチを持っている職員と近くを通りがかった職員が同じ居室を訪室していたので近くを通りがかった職員が対応とのルールにした。</li> <li>・ 利用者コールに対して、他の介助で手が離せない状況になっていても応援を呼ぶことができず、一度その介助を中途半端な場面でやめ現場に向かっていたので、その場合の応援システムをルールにした。</li> <li>・ 新人職員などが迷ったり、あるいは指示を受けたい時に、わざわざ他の職員に応援を依頼してからその場を離れていたため、インカム活用による相談指示とし職員の動線を短くし無駄な動きはしないようにした。</li> <li>・ 記録入力の時間がとらずらく残業になってしまうので、しっかり応援体制を作り効率的な介護により、介護記録入力時間をとって職員の負担を軽減する等々業務の効率の悪さを改善していく。</li> </ul>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	

- ・インカムと眠りSCANを活用し、すぐ他職員を呼ぶ事ができることで、2名での介助がやりやすくなるので利用者の転倒防止や安心感と職員の身体的負担を軽減させる。
- ・睡眠サイクルを把握することにより効率的な介護手段を選択し業務負担を軽減する。
- ・職員間のノートによる申し送り事項は手間と時間のロスがでる。今起こった事をすぐさまインカムで報告し他職員（看護師、生活相談員、栄養士も含め）との情報共有を行いその時の適切な利用者へのケアを行う。
- ・上記のように業務を行いながらの情報共有による効率化を図り、会議等の時間短縮、休憩時間の確保を行う。可能であれば、職員の有給休暇取得日数を増やす。
- ・職員間の日頃のコミュニケーションを深め、お互いの意見などをインカムで話し合う事を習慣とし業務の効率化を図り残業をしない職場環境を目指す。
- ・1名介助でやってることを、互いに連絡をとりあうことにより2名で対応できないか検討し職員の腰痛予防に努める。
- ・逆に現在2名でやっている、記録業務等の周辺業務を1名で行う

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

利用者の要望に素早く、適切に対応できる。

- ・職員（特に新人）の業務中の不安が先輩職員にその場でインカムを活用し指示を仰ぐことにより軽減できる。
  - ・夜勤中に関しても、いつでも応援を気楽に呼ぶことができる体制を構築し職員の負担と不安を軽減できる。
  - ・1人で業務を行っているのではなく、施設全体が組織として介護を行っている施設にできる。
- このような事から、不安、過度な負担の身体介護による離職予防に効果的である。
- ・なにより、いつでも、どこでも相談、助言ができるシステムは新人職員の不安軽減に大きく貢献する。

# 介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名（ 有限会社 あかり ）  
介護事業所名（ グループホームあかり ）  
介護保険事業所番号（ 2392300121 ）  
サービス種別（ 認知症対応型共同生活介護 ）

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りベッドセンサー

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月28日	3

(1)介護ロボットの使用状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・設置した居室野での重度化したご利用者の健康状態を細やかに把握できるようになった。</li><li>・野人やターミナルケアにおける不安等が軽減された。</li></ul>

(2)介護ロボットの導入効果
<ul style="list-style-type: none"><li>・経験の浅い職員の夜勤やターミナルケアにおける不安なストレスを軽減できた。</li><li>・介護記録に掛ける時間の縮小をで直接ケアに掛ける時間が増えた。</li><li>・職員個々ばらつきのある感覚的な気付きに情報に、テクノロジーを加えた客観的事実に基づいた情報を融合する事で、職員への教育・指導がスムーズに行えるようになってきている。</li></ul>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年3月29日
見守りセンサーの製品名	ベッドセンサーシステム タイプC2

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年1月11日
ICT機器の製品名	ipad・Inspirn14

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2023年3月28日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NDソフトウェア)

④ 従前の介護職員等の人員体制 9名のご利用者様に対して1日平均3.3名の職員配置(夜勤含む)

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 9名のご利用者様に対して1日平均3.3名の職員配置(夜勤含む)

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 9名のご利用者様に対して1日平均4.0名の職員配置(夜勤含む)

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由  
 ・取り入れ未だ日にちが浅い・  
 ・採用が未だ進んでいないため。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することが出来ていない。そのための介護職員を平均4.0名確保を目指し、体制を確保することで負担軽減を図ってきたが、慢性的な人手不足に陥り職員の残業等の対応で補い続けて北。それでも不足する状態が続くため業務の優先順位による提供サービスの縮小を余儀なくされた対応を行っている。現在テクノロジーの力を借りる必要性を通関するようになった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

現在は職員一人一人のスキルアップを図るため、管理者自身が講師となり、またさまざまな研修へ職員を派遣し質の向上に努めてきた。  
 休憩時間は、お互いが協力する形で休憩時間をとるように心がけてきた。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用することにより業務で必要な介護記録、見守りセンサーにより介護負担軽減等が図れるようになる事。  
 ⑧休憩時間を、お互いが協力する形できちんと取れるようにすること。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人春岡会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム奥町 )  
介護保険事業所番号 ( 2372205399 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	(株)パラマウントベッド 眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月10日	50台

## (1) 介護ロボットの使用状況

- ・運用基準を作成し、安全動作確認、睡眠調査、看取り対応に使用。
- ・転倒のリスクが高い方には、起き上がりや離床センサーを使用し事故を予防。
- ・新入所の方や認知症状が見られる方の睡眠状況、夜間排泄パターンの確認。
- ・看取り期の方の心拍、呼吸の状態を確認し緊急時に備える。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・転倒リスクの高い方はユニット型である個室内での動作確認が困難であったが、設定によりアラームで危険を教えてくれるので特に職員が少ない夜間帯での転倒リスクが減少。
- ・睡眠状況がデータとして見える化できる事から、就寝時間の調整、オムツ交換に関わる対応、起床介助に関わる業務内容が具体的に検討できている。
- ・看取り期の方への緊急時の早期対応が可能となり、職員の精神的不安軽減となっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和元年7月1日
見守りセンサーの製品名	(株)パラマウントベッド 眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和元年7月1日
ICT機器の製品名	NEC PCVKT12SGGX4M4タブレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和元年7月1日
介護記録ソフトの製品名	(株)ブルーオーシャンシステム 「Blue Ocean Note2」

④ 従前の介護職員等の人員体制 1.9 : 1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 2.1 : 1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 2.1 : 1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・タブレットで確認ができるため、夜間一人で全ての部屋の巡視確認時間が短縮となった。
- ・新規入居者、認知症の方の生活リズムをデータで確認する事により、睡眠状況や排泄間隔が分かりトイレ介助の回数が少なくなった。
- ・看取りの方が身体状況がタブレットで確認できるため、巡視回数が減少した。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・夜間訪室を希望されない利用者様に眠りスキャンを設置する事で、訪室による巡視をなくした事により、安心して寝る事ができた。
- ・睡眠の状態を確認し、日中の活動や睡眠導入剤の調整をにて睡眠時間を確保する事ができた。
- ・看取り、転倒リスクの高い方も眠りスキャンで確認できるため休憩時間がしっかり確保できる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・夜間は特に人が少なくなる為、眠りスキャンを使用する事で精神的な負担軽減が図れている。
- ・データ分析が可能となり、生活リズムや排泄間隔などが把握できるためQOLの向上に役立っている。
- ・呼吸状態等から看取りの時期の兆候を把握し、家族へ状況を伝え最期の時を少しで一緒に過ごしてもらう事で満足度を高める事などが期待できる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社 ライフタップ )  
介護事業所名 ( くるみの木稲沢 )  
介護保険事業所番号 ( 2373902226 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams. 介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月7日	35台

## (1) 介護ロボットの使用状況

全入居者様、全時間帯にて稼働。  
入居者様毎に体動、離床の時間を設定する。

## (2) 介護ロボットの導入効果

体動、離床のアラームによりタイミングを逃すことなく排泄介助等を行うことができる。  
夜間の覚醒状態により訪室を行い、排泄介助、水分補給等を行うことができる。  
見守り業務の軽減により、職員の精神的、肉体的負担の軽減につながっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月7日
見守りセンサーの製品名	aams. 介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年2月7日
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年2月7日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンすぐろくTablet

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:13人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:12人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:13人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入後間もないため	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、日中夜間の生活リズム（呼吸、心拍、睡眠のリズム等）を視覚的に把握するだけでなく、記録化することもでき、職員間の情報共有や負担軽減、ご家族様への情報提供などがスムーズに行えるようになる。異常を検知した際のアラートにより、より素早く対応することができるようになる。タブレット端末による記録入力の簡素化により、職員の業務軽減、質の高いサービス提供を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者様の体調の変化を即座に察知することができ、職員間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。記録入力の簡素化により、業務の効率化、負担軽減を図る

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

タブレット入力は導入後間もなく、扱いに慣れていない状況ではあるが、記録入力の簡素化は行えている。夜間職員の精神的、身体的負担は軽減できている。



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 エール西尾 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 三和の里 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393200213 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設  
 入所者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り支援システム 「眠りスキャン」

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月30日	1セット

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・新規利用者及び体調管理が必要な利用者、夜間帯覚醒時の支援必要者に適宜使用。
- ・睡眠状態や生活リズムの把握により、日常生活のリズムを整え、また転倒のリスク回避や排泄介助のタイミングなどの支援に努める。

使用については、支援チームでアセスメント後、必要性がある場合のみ使用する。  
 家族に説明し同意後の試用とする。

\*プライバシーに配慮した支援内容とする。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・スキャンの反応により、早目に利用者の元に駆けつけられたことで、事故を未然に防ぐことができたという事例が上がった。
- ・体調不良者の状態観察や体調の変化の早期発見ができ、早目の受診に繋げることができた。
- ・睡眠状態が不安定な利用者のデータを主治医に提出して、眠剤等の内服のコントロールに繋げることができた。
- ・適切な排泄介助のデータと睡眠状態や生活のリズムの把握に有効であった。
- ・覚醒、離床時の起居、移動動作不安定な対象者の転倒防止と迅速な対応が可能となった。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人あやめ会 )  
介護事業所名 ( グループホームかえで )  
介護保険事業所番号 ( 2395700111 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月1日	18台

## (1)介護ロボットの使用状況

全居室のベッドに設置、電波を飛ばしモニターへ転送されている。  
職員室にモニターを設置しており夜間の睡眠状態を把握できる環境になっている。

## (2)介護ロボットの導入効果

主に夜間多動な方、転倒リスクの高い方の見守りがしやすくなっており転倒事故が減っている。  
主に介護者の負担が軽減されている。  
介護ソフトに連動しており夜間帯の睡眠状態のモニタリングが可能。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月1日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年4月1日
ICT機器の製品名	すぐろくタブレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成23年11月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し1人
-----------------	-------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し1人
--	-------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し1人
--------------------------	-------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
------------------	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

データとロボットが連動しており睡眠状態を把握し、ケアに反映することができる。夜間たどうにより訪室回数の多い利用者様の負担が減っている。そのため訪室時の物音で起こしてしまうリスクが減っている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

職員室にモニターを設置し全部のロボットの稼働状況が把握できるようになり負担が減っている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

データの活用や職場環境の改善。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( D&M株式会社 )  
介護事業所名 ( ソレイユビラ大門 )  
介護保険事業所番号 ( 2372103727 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月21日	50台

## (1) 介護ロボットの使用状況

「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担が軽減されている。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上につながっている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・利用者提供サービスの向上
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023年2月21日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	2023年1月31日
ICT機器の製品名	iPad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	2023年1月31日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT、CarePalette(NDソフトウェア株)
④ 従前の介護職員等の人員体制	2.3:1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2.7:1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	2.7:1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認するで、不要な訪室を減らしている。</li> <li>・「眠りSCAN」の通知機能、ICT機器を活用し、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の巡視方法を見直すことにより、見回り業務を減らしている。</li> <li>・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットで介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげている。</li> </ul> <p>※入居者様の状況に合わせて巡視を行っている。          余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化が図れている。</p>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う。</li> <li>・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、iPadにてリアルタイムの各入居者様の情報を確認する。</li> <li>・夜勤者の訪室回数を減らすことができる。</li> </ul>	

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 愛知育児院 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム南山の郷 )  
 介護保険事業所番号 ( 2370700094 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月27日	10台

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・体調変化のあるご利用者やターミナルケアの方の状態管理に積極的に活用している。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・起床介助、睡眠日誌の分析、ターミナルケアでは呼吸心拍を含めデータ活用ができた。
- ・ご利用者の睡眠状態や体動が把握でき、結果データを基に生活リズムや日中の過ごし方の工夫に活かしている。
- ・夜間の排泄のタイミングをご利用者に合わせることで、ご利用者にも負担が少なく対応ができる。
- ・睡眠と覚醒を把握することで、夜間の訪室回数を安全に減らすことができ、リアルタイムで動きが確認できるため事故防止にも役立っている。
- ・ターミナルの方の状態変化が把握でき速やかな対応に繋がっている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 北医療生活協同組合 )  
介護事業所名 ( 生協わかばの里介護老人保健施設 )  
介護保険事業所番号 ( 2350380024 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	パラマントベッド エスパシアシリーズKA-N1421R

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月10日	80台

## (1) 介護ロボットの使用状況

- ・全入所者、ショートステイ利用者に対して、個別設定して使用。
- ・ベッドに内蔵されて離床CATCHⅢを使用し、必要時入所者の動きを把握している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・今まで使用していたセンサーマットに比べ、目に入らないシステムとなるため、入所者の精神的負担の権限につながっている。
- ・状況に合わせた設定が個別にでき、内蔵センサーの感度が優れているため、転倒リスクの軽減につながっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月10日
見守りセンサーの製品名	パラマントベッド エスパシアシリーズKA-N1421R

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2020年10月1日
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2021年12月11日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	常勤換算30.5人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	常勤換算29.5人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	常勤換算27.9人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	想定した職員が確保できていない。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・介護ソフトへ記録し、迅速に多職種で情報共有できるようにする。
- ・iPadを活用し、記録を効率的に行う。
- ・過度な訪室を減らす。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・転倒リスクの高い複数の要介護者を同時に状況把握を行い、優先順位をつけて対応を行う。
- ・夜間帯にベッドから離れるなどの状況をiPadで動画撮影し、夜間帯の動きを家族とも共有する。
- ・入所者のできるだけ自由に行動したいという想いを尊重をする。
- ・夜間帯、交代での休憩中、安心して体を休める環境づくりを行う。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・過度な訪室は減少している。
- ・コード類がすっきりして、入所者の精神的負担は減っている。また転倒リスクも軽減している。



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人福友会 )  
介護事業所名 ( 介護老人保健施設はっ田 )  
介護保険事業所番号 ( 2350580045 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りScan

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月30日	96台

## (1)介護ロボットの使用状況

全ベッドに眠りSCANを設置しており、リアルタイムモニター（ノートパソコン、スマートフォン）を配置している。職員は、離れた場所や移動しながらでも利用者様の様々な状況（睡眠・覚醒・起き上がり・離床、心拍数、呼吸数）を知ることができている。

## (2)介護ロボットの導入効果

・モニター心電図を装着していない利用者様も心拍数や呼吸数の把握ができ、経過観察を行いやすいため巡視回数を適切に減らすことができた。  
・睡眠等の日誌を確認することで、今まで点でしか見えなかった利用者様の行動や睡眠等の状況が24時間の線で分かるため、ケアの見直し検討ができた。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023/3/30
見守りセンサーの製品名	眠りScan
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	2023/3/30
ICT機器の製品名	arrows BZ02
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	2023/3/30
介護記録ソフトの製品名	ケア記録オプション
④ 従前の介護職員等の人員体制	看護職員10.3名、介護職員23.3名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	看護職員10.3名、介護職員23.3名
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	看護職員11.3名、介護職員23.3名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	看護職員体制を充実させるため看護職員を増員した。
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<p>●見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入所者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。 ●「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入所者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。 ●眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。 ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。 余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。</p>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<p>●眠りSCANを使用し、スマートフォンにて入所者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者様の睡眠時間を確保する。 ●スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、スマートフォン端末にて、リアルタイムの各入所者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。 ●巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」に変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減につなげる。</p>	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
<p>●睡眠日誌を確認し、眠剤の開始や調整を適切に検討できる。 ●離床センサーが入っていない入所者様の行動も把握でき、適宜巡回することで予期しない転倒事故等を予防することができる。 ●覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、入所者様の睡眠時間を確保でき日中の活動量が増える。</p>	

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人中野会 )  
介護事業所名 ( グループRU・RU・RU )  
介護保険事業所番号 ( 2392400186 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	リコーみまもりペットセンサーシステム

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月14日	2台

## (1)介護ロボットの使用状況

入居定員18名の2ユニットで、常時見守りが必要な転倒・転落等のリスクが1番高い入居者に各1台ずつ設置している。

## (2)介護ロボットの導入効果

日勤、夜間帯共に巡回の回数を変更せず行っている。夜間帯は2名の介護スタッフが2時間に1回の巡回を行い、入居者の状況を確認している。導入した入居者と、導入していない入居者と比較すると、導入した入居者は居室での状況、特に夜間帯の動きが把握できるようになった。今後、いろんな方で試すことで、行動の分析、予測ができ、転倒転落の未然防止に繋がり、事故件数を減少できるのではないかと期待している。また、その場で見守りできることで、介護職員の心身の負担軽減に繋がっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月14日
見守りセンサーの製品名	リコーみまもりベットセンサーシステム

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	以前に導入済
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	以前に導入済
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制

15人

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

15人

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

15人

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守り業務に時間や負担がかかっており、常に周囲を気にしている環境下で、入居者とのコミュニケーションにかけられる時間が少ない。そのため、人員体制はそのまま継続を見込んでいる。時間が削減できれば、レクリエーションやコミュニケーションなど他の業務に人員を活用する。また、入居者が料理、洗濯、掃除など活動量を増やせるように働きかけ、業務負担の軽減のみでなく、サービス向上に繋がられるように取り組んでいく。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・巡視前に見守り機器のモニター画面を確認することで、入居者の状況を把握し、対応の優先順位づけを行う。  
 ・見守り機器の導入により、入居者のアラーム発報のタイミングを知ることができ、生活パターンや傾向を理解することができるために、夜間帯で言うならば、入室するタイミングを調整し、眠りの妨げにならないように対応する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

もっと多くの入居者に使用し、入居者の行動分析と予測ができていけば、介護職員の心身の負担軽減や入居者の転倒転落の件数を減らしていけると期待している。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社サンメディック東浦 )

介護事業所名 ( 介護付有料老人ホーム敬愛苑藤江 )

介護保険事業所番号 ( 2375701782 )

サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月27日	3台

## (1)介護ロボットの使用状況

ご入居者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（立ち上がり・離床等）を電子カルテやナースコールと連動しているため、アラートで知らせてくれ、また、モニターでの様子観察もできる。その都度アラートの種類によって状況判断をし、職員が対応している。

## (2)介護ロボットの導入効果

見守り介護ロボットを転倒リスクが高い方や、状態変化が多い方へ使用する事で、ご入居者様の動き出しに迅速に気づけるようになり、転倒・転落のリスク回避ができるようになった。また夜間のケアに関しても、呼吸状態の把握が電子カルテでのモニターで確認ができる為、職員の介護負担の軽減も図れ、ご入居者様の睡眠の妨げにつながる不要な訪室を減らすことができている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和 <sup>4</sup> 年12月27日
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年8月1日
ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成26年1月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制	入居者2.5人に対して職員1人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・職員とのコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。
- ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

今まで看取りの対応はその都度居室まで訪室しないと状況が確認できなかったが、aamsの導入により電子カルテから心拍の状況が確認できるため、見守りの効率が上がった。それに伴い職員の業務効率も向上し、残業も以前よりは減少してきている。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社サンメディック豊田 )  
 介護事業所名 ( 介護付有料老人ホーム敬愛苑 )  
 介護保険事業所番号 ( 2373002290 )  
 サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月27日	3台

## (1)介護ロボットの使用状況

ご入居者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（立ち上がり・離床等）を電子カルテやナースコールと連動しているため、アラートで知らせてくれ、また、モニターでの様子観察もできる。その都度アラートの種類によって状況判断をし、職員が対応している。

## (2)介護ロボットの導入効果

見守り介護ロボットを転倒リスクが高い方や、状態変化が多い方へ使用する事で、ご入居者様の動き出しに迅速に気づけるようになり、転倒・転落のリスク回避ができるようになった。また夜間のケアに関しても、呼吸状態の把握が電子カルテでのモニターで確認ができる為、職員の介護負担の軽減も図れ、ご入居者様の睡眠の妨げにつながる不要な訪室を減らすことができている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和 <del>5</del> <sup>4</sup> 年12月27日
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年8月1日
ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成21年4月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制	入居者2.5人に対して職員1人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・職員同士のコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。
- ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

今まで看取りの対応はその都度居室まで訪室しないと状況が確認できなかったが、aamsの導入により電子カルテから心拍の状況が確認できるため、見守りの効率が上がった。それに伴い職員の業務効率も向上し、残業も以前よりは減少してきている。



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 薫風会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 第二大和の里 )  
 介護保険事業所番号 ( 2373900196 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパシアシリーズベッド (離床センサー内蔵)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	76台

## (1) 介護ロボットの使用状況

- ① ナースコールと連動させ、利用者様の離床状況の把握、転倒・転落防止の為、使用している。  
 (導入前までは床センサーを使用していた)
- ② 下記の症状がある方に優先的に使用している。
- ・ ベッド上にて体動があり転落の可能性がある利用者様
  - ・ 立位不安定であるが、自己にて移乗される利用者様
  - ・ 認知症によりナースコールを押すことができない利用者様

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・ 他の利用者様の居室に入ってケアしている際、利用者様の動きが把握できなかったが、ナースコールと連動しPHSに通知される為、迅速に対応でき事故防止につながっている。
- ・ 利用者様個々の状態に合わせてセンサーが設定できる為、個別の対応が行いやすくなった。
- ・ 誤作動が少なくなり、スムーズに対応できるようになった。(導入前は床センサー使用)

別添1 (介護ロボット用)

### 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人淳涌界 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホームおふくろの家 )  
介護保険事業所番号 ( 2377500323 )  
サービス種別 ( 指定介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	4台

#### (1)介護ロボットの使用状況

現在、車いすで夜間トイレ介助を行っている方に使用しています。

#### (2)介護ロボットの導入効果

カメラで行動を見る事が出来るので起きているかの行動確認が出来る事はいいです。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社波の女 )  
介護事業所名 ( グループホーム滝子通一丁目 )  
介護保険事業所番号 ( 2390700124 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月29日	18台

## (1)介護ロボットの使用状況

18台稼働中

## (2)介護ロボットの導入効果

○これまでの夜勤帯では、些細な物音でも入居者の離床や行動開始と予測して各居室を確認して回る、等の動きを要していたが、システム導入後はまず手元のカメラ画像の確認、眠りスキャンデータの確認をすることで、行動の有無や睡眠状況を確認できるため不要な訪室をすることをしなくても良くなったことが、負担軽減となっているという感想が出ている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月29日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月15日
ICT機器の製品名	iPad / iPhone

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年2月27日
介護記録ソフトの製品名	CARECARTE

④ 従前の介護職員等の人員体制

グループホーム事業所に二つの共同生活住居（定員各9名）を有し、各共同生活住居ごとの介護職員配置は①日勤者8時間（9時～18時）②遅勤者8時間（11時～20時）③夜勤者（入り）16時～24時④夜勤者（明け）0時～11時となっている。日中時間帯（5時～22時）に総配置時間数28時間、夜勤及び深夜の時間帯（22時～5時）に4時間（休憩3時間）である

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

1勤務当たり最大時で90分程度要している介護記録に要する時間数を50%削減、1勤務平均70分程度から30分程度記録時間を削減することで、1日あたり2時間程度（4勤務）の時間を生み出せる。この時間分を削減するのではなく、入居者へ直接かかわる時間数を増やす、記録のための超過勤務を削減する。併せて介護計画作成担当者が計画作成に要する時間数の削減を図っていく

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

現状は⑤と大きな変化はない

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入が1月予定から3月下旬の導入と遅れたことと、一つのユニットでは端末とセンサーの連動に不具合が起き、さらに導入が遅れた。本格的に稼働して一か月弱であり、記録時間を削減できるほどに端末操作に慣れていない

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

○介護システムCAREKARTEと連携させ、発報データの自動記録化とシステム上の介護記録と一体的にアセスメントできることでより良質な介護サービスが提供できる。  
○手元のiPhoneやiPadでも、発報キャッチから状態確認までできるので、複数が起こっても的確な優先順位をつけて介助することができる。  
○上記により、良質なサービスを提供でき、利用者の安寧な生活、スタッフのさらなる負担軽減が図れることで、人員配置基準が決められている中で人員配置の削減よりも間接業務時間の削減で入居者に直接かかわる介護職本来の業務時間数を改善でき、介護職員のモチベーションアップ、入居者の生活のQOL向上を図る

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

○眠りSCANの導入で、居室内で睡眠中の入居者の状態情報が居室外の職員に届くので、状態確認のための入室を減らすことができ、利用者に良質な睡眠を提供することができている。  
○眠りSCANの導入で、居室内の入居者の体動を居室外にいる職員がリアルタイムで知ることができるため、職員が入居者の状態把握をリアルタイムで行えるため転落や転倒防止効果は高く、そのことによる入居者へのダメージを大幅に軽減できる。  
○眠りSCANの導入で、居室への定型的な巡視から随時巡視へ転換でき、職員の負担軽減を図れている。同時に、居室内の入居者の状態情報が居室外の職員にリアルタイムで届くので職員の安心感が大幅に高まり精神的負担軽減を図れている  
○眠りSCANのデータが介護ソフトに自動連係されるので、記録負担の軽減ができる。  
○眠りSCANは、設定によって他のユニットの状態もモニターできるので、設定を切り換えてモニターをユニット間で協力して見てあげるにより、夜間スタッフが休憩を確実にとることができる予定「。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

○これまでの夜勤帯では、些細な物音に対して「入居者の離床や行動開始と予測」して「各居室を確認して回る」動きを必要としていたが、システム導入後はまず「手元のカメラ画像の確認、眠りスキャンデータの確認をする」ことで、行動の有無や睡眠状況を確認できるため「不要な訪室をしなくても良くなった」ことが負担軽減となっているという感想が出ている。まだ、本格的に稼働して一ヶ月であるため、システムに慣れていない職員もいるが、徐々に負担軽減を実感できる職員が増えていくと予想している

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人等生会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホームかくれんぼ )  
介護保険事業所番号 ( 2390300289 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520無線接続タイプ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月24日	26台

## (1)介護ロボットの使用状況

令和元年に導入した3台を含め、今回の26台の導入でユニット全居室に眠りスキャンが整備され、ご利用者全員の睡眠状態、入眠パターンの確認、体調を崩されている方の夜間の状態確認をしている。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・夜間自分でベッドから離床して転倒するリスクのある方に対して、入眠状態が確認でき、別途連動カメラシステムも導入しているので、頻繁な居室訪問による見守りを減らすことができ、夜勤者の負担を減らすことができた。
- ・入居者全員の夜間の行動パターンを収集することができる。
- ・体調不良の方や看取り期の方に使用する事により、昼夜臥床時の呼吸の状態等がモニターで確認でき、スタッフに安心感を与え精神的な負担の軽減に繋がっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月24日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN NN-1520無線接続タイプ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月24日
ICT機器の製品名	IPAD

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年9月22日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXTクラウド

④ 従前の介護職員等の人員体制

29人に対し2人の勤務者

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

利用者2名に対して介護職員が1名の配置を見込んでいた。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

全体導入から期間が経っていないが平均値としては1.7名に対し介護職員1名の配置となった。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入計画時と比較して入所者の重度化等状況が変わってきており、想定よりも介護職員の配置が多く必要になったため、介護職員の人員体制の減少には繋がらなかったが、夜間に関しては勤務者の労力（巡視回数の軽減や精神的負担）の減少効果が見られる。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャン（見守りセンサー）とICT機器（i pad）を活用することで、ベッド上の動作を映像で確認したり、睡眠時の状態の把握が可能になるため、緊急時の的確な判断やターミナルケア時の適切なタイミングでのかわりや対応ができる。また、夜間帯の定期巡回の無駄を省き介護職員の負担軽減に繋げる。さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して、利用者生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組みます。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

情報をご家族やケアマネージャー、介護従事者と共有し睡眠導入剤の投薬効果の検証に役立てる。また、夜勤者の負担軽減のため居室で過ごすご利用者様の状態を見える化することで、巡視の回数を減らす。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

ユニット全室に眠りスキャンが設置されたことにより、入所者全員の状態が把握でき、職員の物理的及び精神的負担の軽減、労働環境の整備改善により離職率の低下が期待される。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社サンケイ )  
介護事業所名 ( グループホームチアフル夢明かり・幸明かり )  
介護保険事業所番号 ( 2393800210 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月8日	18台

## (1) 介護ロボットの使用状況

各利用者のベッドの中に眠りスキャンを装置し、共有スペースのPCの画面で各々の眠りの状態を把握している。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ①ベッド上での睡眠状態やバイタルデータが既存の介護ソフトに自動転記されるので、記録に係る負担軽減が図れる。  
②医師、薬剤師、家族に利用者の睡眠状態・バイタル等を一覧化したデータが自動的に作成されることで当該資料作成に係る負担軽減が図れる。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/3/8
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	既に導入済み
ICT機器の製品名	iPhone, iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	既に導入済み
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制  
介護職員 常勤11名 非常勤6名 (常勤換算13.2人)

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制  
介護職員 常勤10名 非常勤5名 (常勤換算12.0人)

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制  
介護職員 常勤13名 非常勤3名 (常勤換算14.3人)

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由  
入退社、異動の為。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

既存の介護システムワイズマンと連携させることで、発報データの自動記録化とシステム上の介護記録と一体的にアセスメントでできることでより良質な介護サービスが提供できる。手元のiPhoneやiPadでも、発報がキャッチから状態確認までできるので、複数が起こっても的確な優先順位をつけて介助することができる。上記により、良質なサービスを提供でき、利用者の安寧な生活、スタッフのさらなる負担軽減が図れることで、夜間は人員基準として現人員を削除できないが、日中の基準を超えたスタッフが削減できる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

夜間、不要な定期巡視を回避することで、利用者に良質な睡眠を提供し、スタッフの軽減が図れる。眠りSCANのデータが介護ソフトに自動連携されるので、記録負担の軽減ができる。眠りSCANは、設定によって他のユニットの状態もモニターできるので、設定を切り替えてモニターをユニット間で協力して見てあげることにより、夜間スタッフが休憩を確実にとることができる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

看取り時、呼吸数をモニターできるため医師に連絡する適切なタイミングを知ることができた。今後、利用者の眠りの状態を把握できることで、眠剤などの投薬時間を適切な時間にできたり不必要な投薬をせず、減薬につながることを期待できる。また、眠りの状態を把握できるので、起き上がりに気付き転倒の回避が期待できる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 永熊会 )  
 介護事業所名 ( 地域密着型特別養護老人ホーム きらめき )  
 介護保険事業所番号 ( 2391400211 )  
 サービス種別 ( 地域密着型特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月23日	12台

## (1)介護ロボットの使用状況

見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減している。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上が図れている。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現
- ・利用者のQOLの向上
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023年3月23日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	導入済み
ICT機器の製品名	iPad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	導入済み
介護記録ソフトの製品名	ケアコネクトジャパン 「ケアカルテ」
④ 従前の介護職員等の人員体制	30名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	25名
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	30名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入直後のため雇用調整は一定期間必要
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。</li> <li>・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、動きのあった入居者様の情報がタブレットへ入り、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えることによる、効率化の推進</li> <li>・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守り。</li> </ul> <p>※入居者様の状況に合わせて巡視を行う。余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行する。</p>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う。</li> <li>・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、タブレット端末にリアルタイムの各入居者様の情報を確認する。</li> <li>・巡視の方法を変更することにより、訪室回数を減らす。</li> </ul>	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の記録業務の低減</li> <li>・職員の休憩時間の確保</li> <li>・安全な見守り</li> <li>・入居者の睡眠の質の向上</li> </ul>	

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 王寿會 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム幸王寿園 )  
介護保険事業所番号 ( 2392000119 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り支援システム「眠りSCAN」

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月1日	20台

(1) 介護ロボットの使用状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 20名の方に眠りSCANを設置して、夜間の睡眠状況の把握を行っている。</li><li>・ 看取り期の方にも使用して睡眠・脈拍・覚醒の把握・ご家族様への状態説明に使用している。</li></ul>
(2) 介護ロボットの導入効果
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 睡眠状況の把握を行う事により、トイレ誘導や巡回を必要時に必要な回数を行う事に繋がっており転倒・転落のリスク軽減が出来ている。</li><li>・ 夜間の睡眠状況が良くない方には日中の安静時間調整の目安にもなり、体調を崩されることが減少しており、介護負担軽減に繋がっている。</li><li>・ 睡眠導入剤の効果確認にも活用している。</li><li>・ 看取り期の状態が数値やグラフで把握できるため、介護士の精神的不安軽減に繋がっている。</li><li>・ 眠りSCANの使用をご家族様に説明をすると安心して頂ける。</li></ul>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月1日
見守りセンサーの製品名	見守り支援システム「眠りSCAN」

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年4月1日
ICT機器の製品名	HUAWEI Media Pad T5

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成30年4月1日
介護記録ソフトの製品名	KitFit SilverLand

④ 従前の介護職員等の人員体制	常勤換算16.7人
-----------------	-----------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	常勤換算16.2人
--	-----------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	常勤換算16.7人
--------------------------	-----------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	眠りSCANの使用を行いながら業務の見直しを行っている最中の為
------------------	---------------------------------

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANを使用して、個々の睡眠状況の把握を行い、個々の睡眠リズムに合わせた排泄パターン確立に向けたデータ収集を行っている。介護記録ソフトの個別のケース記録にデータの蓄積を行っている。iPadから個別の眠りSCANのデータ確認を行えるようにして排泄対応等の動線の効率化を図っている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

個々の排泄パターン把握を行い、適した時間に排泄介助を行う事により安眠・失禁数の減少により、介護負担の軽減が図れ、業務の効率化が行え休憩時間が取りやすくなるように取り組んでいる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

個々の睡眠状況の把握を行い業務の見直しを行っている最中である。徐々に夜間の排泄パターンに合わせたケア提供を開始して、介護負担や精神的負担の軽減及び休憩時間の確実な確保が期待できる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会医療法人宏潤会 )  
 介護事業所名 ( 大同老人保健施設 )  
 介護保険事業所番号 ( 2351280009 )  
 サービス種別 ( 介護保険施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月29日	30

## (1)介護ロボットの使用状況

ベッドからの転倒転落リスクが高い利用者を選定し、各居室に設置した。利用者の状況に合わせてセンサーを稼働し、見守りを開始した。

## (2)介護ロボットの導入効果

導入後、3週間であるが、対象者の睡眠状況の把握を行ない、状況に合わせた睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことができている。また、リアルタイムの対象者の情報を確認することができるため、転倒転落を未然に防ぐことができ、利用者の安全確保や職員の負担軽減にも繋がっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年3月29日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年3月29日
ICT機器の製品名	デジタルインカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019年12月
介護記録ソフトの製品名	寿システム

④ 従前の介護職員等の人員体制

看護職員13名 介護職員26.8名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

36名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

38名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入計画策定時より職員数は減少しているが、現在の入所者の状況を考慮すると38名の職員数の人員配置が必要である

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより不要な訪室を避け、タイムリー且つ必要な場合のみ職員が対応している。
- ・「定時巡視」から「適宜巡視」へ変えていき、入所者の状況に合わせた巡視を行っている。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら介護記録を入力することにより安全な見守りをしている。
- ・インカムを使用し、職員間の連絡をスムーズに行い、入所者への迅速な対応に繋げている。
- ・インカムを使用し、電話連絡による無駄な動きの削減に繋げている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる。
- ・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる
- ・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる



## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社ミッドランド )

介護事業所名 ( 有料老人ホーム ミッドランド知多 )

介護保険事業所番号 ( 2375702327 )

サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	aams介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月10日	33台

## (1)介護ロボットの使用状況

- ・施設内全居室のベッドにaamsを設置。
- ・すべての入居者様に24時間稼働態勢を整え、入居者様ごとに体動や離床時間の設定。

## (2)介護ロボットの導入効果

- ・入居者様ごとに設定した体動や離床時間によるアラート鳴動により、スタッフが状況を察知でき、居室への訪室がスムーズに対応する事が出来ている。
- ・夜間の覚醒状態により訪室のタイミングを計ることが出来、入居者様の睡眠への影響を少なく出来ている。
- ・またスタッフも見守り業務の軽減により、肉体的・精神的の負担軽減になっている。特に夜間配置のスタッフにおいては顕著。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月10日
見守りセンサーの製品名	aams介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年1月12日
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年1月16日
介護記録ソフトの製品名	IDCケア記録オプションすぐろくタブレット

④ 従前の介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：13名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：12名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：12名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、入居者様の生活リズム（心拍や睡眠等）を把握し、また記録化することにより、スタッフ間での情報共有、家族関係者への情報伝達などをスムーズに行えるようになる。
- ・異常検知のアラートにより、スタッフがよりの確に対応出来るようになる。
- ・タブレット端末への記録入力により、業務削減・質の高いサービス提供を行える。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者様の生活リズムを理解しながらサービスを提供できるので、一段と質の高いサービスが提供できる。 ・業務削減により、スタッフの精神的・身体的ストレスの軽減、業務削減により休憩時間の確保（特に夜間帯）ができ、職場環境の整備ができる。
- ・タブレット端末への記録入力により、業務の効率化、負担軽減。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・見守りセンサーにより、夜間スタッフの業務削減、精神的な負担削減。
- ・タブレットへの記録入力により、手書き作業と比べると業務は大幅に削減。またグラフ等によりご利用者様の（身体等）変化の状況がすぐにわかる。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人社団 同仁会 )  
介護事業所名 ( 介護付有料老人ホームファミリエ )  
介護保険事業所番号 ( 2372901336 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月27日	15

## (1) 介護ロボットの使用状況

看取り、転倒リスクの高い方に使用しており、看取り対象利用者に対しては終末期ケアの身体状況の把握により異常の早期発見が可能となっている。

## (2) 介護ロボットの導入効果

終末期ケアでは変化しやすい入居者の身体状況がリアルタイムで確認できる事で介護従事者の見守りに対する不安軽減につながっている

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月27日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年12月27日
ICT機器の製品名	富士通arrows

③介護記録ソフトについて

導入年月日	H25. 12. 1
介護記録ソフトの製品名	ブルーオーシャン

④ 従前の介護職員等の人員体制

入居者様3名に対して職員1名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

導入したばかりなので、現状は3:1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

3:1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

介護記録、見守りセンターの電子化により情報を一元化する事でスタッフ間での情報の共有化できる事や記録作成時間の短縮に繋がった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・個別での担当者会議でフィールドし、多様なご利用者に対応したケアの質の向上を図る  
内容を見直すことにより効率で適切な役割分担を検討する。

・業務

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

ケアの質の向上と職員の負担の均一化や残業時間の短縮

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人和敬会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホームなごみの郷 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393300070 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	A. I. Viewlife

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月1日	10台

## (1) 介護ロボットの使用状況

- ・これまで使用していた離床センサーによる検知回数の多い利用者を中心に、センサーカメラと生体センサーを設置。更に、利用者ごとに通知項目を個別で設定している。
- ・通知の入るスマートフォン又はタブレット端末を、勤務に入るスタッフは常時携帯。
- ・通知の際はすぐに訪室をせず、まずは端末確認を徹底し、訪室の必要性の判断、必要に応じシステムからの声掛けによる見守りを行っている。
- ・通知のない際でも、訪室をしない見守りを実施。
- ・事故が発生した際には、振返りや再発防止策検討のための資料としても動画データを活用。

## (2) 介護ロボットの導入効果

- ・これまで使用していた離床センサーでは、通知の度にすぐに訪室をし、状況確認を行わなければならなかったが、A. I. Viewlifeの導入により、居室から離れた場所でもライブ動画により居室内の現状確認を行えるため、訪室の必要性の有無をどこにいても判断することができるため、訪室回数を削減することができる。
- ・システムから居室内への声掛けが可能のため、声掛けにより訪室までの時間を稼ぐこともでき、事故防止効果もある。
- ・A. I. viewlifeには生体センサーも設置されているため、視覚的な見守りだけでなく、呼吸レベルと体動レベルも常時把握し、異常時には通知があるため、スタッフの精神的負担も大きく軽減することができる。
- ・システム間で端末同士による通話も可能 (インカム機能) ため、スタッフ間の連絡、情報共有もスムーズに行え、応援を呼ぶ際などにも大いに活用している。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和5年3月1日
見守りセンサーの製品名	A. I. Viewlife
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和5年3月1日
ICT機器の製品名	arrows端末
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	平成29年3月1日
介護記録ソフトの製品名	FT-Care
④ 従前の介護職員等の人員体制	1.5 : 1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2 : 1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	1.5 : 1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入初期のため人員体制の見直しや検討をする段階ではないため。
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアで過ごされる利用者を見守るスタッフが、フロアで見守りや同一ICT機器を使用した記録を行いながら、システム上（センサー検知による見守りも含む）において居室で過ごされている方の見守りも行えるため、各フロアにおいて見守りに必要な人員を効率化することに取組む。</li> <li>・これまで見守りに必要であった人員を、より人手が必要な業務に配置することが可能となるため、必要などころに必要な人材を効率的かつ効果的に最適配置することに取組む。</li> <li>・記録ソフトへの入力も見守りセンサーの検知や見守りも同じスマートフォンとタブレット機器で可能となるため、どこにいても、ICT機器手元にあるスタッフなら誰でもその場で記録にも見守りにも対応することが可能となる。これにより、センサー反応があった際、「ちょっといま手が離せないから、〇〇さん、□□さんのお部屋まで対応して！」ということが減少し、自分でICT機器を確認し、対応する優先順位を判断し行動でき、スタッフ1人の行動にかなりの余裕が生まれる。</li> </ul>	

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・居室に実際に訪室しての巡回回数を削減させることができることで、特に夜間は巡回により睡眠を妨げられるなどがなくなる。
- ・転倒・転落事故のリスクを減少させることができる。
- ・日中については、見守りに必要な人員を効率化することで、効率化された分の人員は余裕をもって休憩を取ることが可能となる。
- ・夜間についても、フロア内の離れた場所に位置する居室内をシステム上で確認できるため、巡回回数の軽減や、余分な訪室を削減でき、身体的な負担を軽減させることができる。また、いつでもどこでも居室内を確認できるため、夜間の精神的な負担も軽減することができる。
- ・巡回回数の軽減で、夜勤スタッフの休憩時間の確保も可能となる。センサー反応によるフロアと居室の無駄な往来（従来はセンサーが反応すると必ず居室へ出向き状況確認していたものを、見守りシステム上でどこにいても可能にさせる。）を減少させる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・スタッフの時間的な余裕を作り出すことができることを大いに期待している。見守り機器等ICT機器を使用することで、業務の効率化をし、生み出された時間を利用者とスタッフの、人と人との関わりの時間に充てることができ、利用者の生きがいや心の充実と、スタッフの働きがい向上の効果を期待している。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人豊和会 )  
介護事業所名 ( 老人保健施設かずえの郷 )  
介護保険事業所番号 ( 2353080035 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月16日	30台

## (1)介護ロボットの使用状況

見守りセンサー眠りSCANを入所フロア (2、3、4階) にて使用。認知症症状による不意な起き上がりがみられる入所者や全身状態の悪化リスクが高く、常に体調の変化 (睡眠、呼吸、心拍) について留意が必要な利用者へ使用している。

## (2)介護ロボットの導入効果

見守りセンサー眠りSCANの導入により、入床後のベッドからのずり落ちや転倒のリスクが軽減している。また、全身状態の確認がリアルタイムに行えることから、利用者の状態の急変に即座に対応できる。前記により看護・介護職員の精神的負担が軽減できると共に、見守り、巡視等に関わる業務時間の短縮により他業務に時間を当てられケアの質の向上にも繋がっている。



①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/16
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年3月28日
ICT機器の製品名	IPAD

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/3/28
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NEXTケア総合記録システム)

④ 従前の介護職員等の人員体制 看護・介護職員 昼間25名～30名、夜間7名 勤務

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 看護・介護職員の勤務員数は同数であるが見守りに関わる時間を削減し、他ケアに充てることができるようになる。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 看護・介護職員の勤務員数は同数であるが見守りに関わる時間を削減し、他ケアに充てるようになった。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

3点の活用により、紙媒体から徐々に電子媒体へと移行への取り組みの糸口となっている。それにより紙の削減や職員間のスムーズな連携にも繋がっている。また、状態の重度化した利用者へのケア人員として、従来であると増員を必要としたが、同人数による対応が可能となっている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

記録や見守り、状態確認へ要す時間を利用者への直接的なケアや職員の人材育成に充てることができ、より個別性のある質の高いケアに繋がっていると自負している。また、利用者の急変時の対応等、職員の精神的負担も軽減している。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

介護現場でのICT、介護ロボットの導入により、記録の全面的な電子化へ繋げていきたい。電子化により、消耗品経費の削減や職員の内面的負担軽減、ケアの質の向上が図れると考える。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人美竹会 )  
介護事業所名 ( グループホームみその )  
介護保険事業所番号 ( 2372601076 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介助 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	LASHIC-care

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月20日	18台

## (1)介護ロボットの使用状況

利用者居室のベットに設置。全館敷設の無線LANを通じリアルタイムに利用者の状況をモニタリングできるようになっている。

## (2)介護ロボットの導入効果

心音センサーにより訪室なしに利用者の確認をすることができる。また、夜間の動作、睡眠の状況、排泄等に関する行動の履歴などにより、利用者の傾向、睡眠の状態、行動の予測を行い効率的な介護を行うことができるようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月20日
見守りセンサーの製品名	LASHIC-care

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年1月1日
ICT機器の製品名	i-phone BONX

③介護記録ソフトについて

導入年月日	既導入済み
介護記録ソフトの製品名	WINCARE HIMVIT

④ 従前の介護職員等の人員体制	管理者1 看護1 常勤介護職12 非常勤9 総シフト時間2730時間(2023/3基準)
-----------------	---

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	月間勤務シフトのうち150時間を削減
--	--------------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	前年比月間120時間程度削減
--------------------------	----------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	離床対応他センサーだけでの安全確認に当面は不安が残るため
------------------	------------------------------

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

夜間の定期的な訪室回数を削減することと、離床時や緊急対応においてインカム、スマホによりユニット間で夜勤の相互サポートが可能になる

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

夜間訪室時に利用者を起こしてしまわないことや、不用意な訪室による不穏の助長などを軽減し適度な距離間によりストレスのない見守りと職員の心理的な負担を軽減する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

夜勤者の連携強化により夜勤者の初期教育が容易に行え、心理的なストレスを軽減できた。このことは虐待防止の観点からも有効である。また利用者のQOL向上の点からも睡眠の不用意な中段が軽減されるとともにバイタルデータのモニタリングによる安心感も生まれた。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人杏園福祉会 )  
介護事業所名 ( ひびのファミリア )  
介護保険事業所番号 ( 2370901593 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023/3/27	100台

## (1)介護ロボットの使用状況

介護老人福祉施設の入居者100名全員に対して終日、睡眠状況の把握を目的として導入をしている。

## (2)介護ロボットの導入効果

全入居者の睡眠状況やリズムを確認し、巡視や排泄介助について双方の負担軽減に繋がっている。  
また離床時のアラーム機能がセンサーの代わりになっており、転倒や転落事故を未然に予防出来ている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況  
 ※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/3/27
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	既に導入済み
ICT機器の製品名	ケアパレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	既に導入済み
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制 8時間夜勤・ユニット5名体制

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 12時間夜勤・ユニット5名体制

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 12時間夜勤・ユニット5名体制

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

ユニットにスタッフ1名となる時間帯において、巡視や排泄介助、他の入居者の介助中の負担と不安が軽減出来ている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

夜勤スタッフが遅番スタッフと重なる時間を確保する事が出来たため、夜勤スタッフの休憩時間を1時間30分に増加出来ている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

同フロアの夜勤スタッフ同士がスマートフォンを共有し、深夜時間帯であっても休憩が出来る環境の構築。遅番勤務の時間帯の見直し。睡眠リズムを根拠とした排泄介助や服薬支援の実現。

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会医療法人財団新和会 )  
 介護事業所名 ( 介護老人保健施設さとまち )  
 介護保険事業所番号 ( 2353180041 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月25日	13台

## (1)介護ロボットの使用状況

令和5年1月25日より一般棟で5台、認知棟で8台の眠りSCANの使用を開始した。これにより合計22台の運用となり、主に夜間覚醒することが多い利用者に対して離床センサーの代わりとしての活用している。

## (2)介護ロボットの導入効果

過去の経緯より、ターミナル期の呼吸の乱れを正確に捉えられることから、臨終の際にご家族が揃って見送りが出来るという活用が出来ている。また、誤嚥性肺炎に対しては呼吸状態の変化を捉えることが出来るため、早期に医師による診察につなげることが出来、その結果として呼吸器リハビリを導入、排痰を促すことで状態の改善を図ることが出来ている。しかしながら誤嚥性肺炎の予兆を捉えることまではできていないため、今後データの蓄積により予防効果についても研鑽を積み、利用者様の負担軽減および入院による経営面の不安定化を防止に役立てていきたいと考えている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況  
 ※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和5年1月25日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン NN-1520
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和3年11月22日
ICT機器の製品名	iPad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	平成30年4月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン
④ 従前の介護職員等の人員体制	夜勤職員 5名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	夜勤職員 5名 (定期巡視の廃止)
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	夜勤職員 5名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	全床導入に至っていないため、定期巡視の廃止には至っていない。
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
眠りスキャンの状態をタブレットに表示することで、巡視中も離れた居室の利用者様の状態を把握することが可能となっている。またタブレットにて介護記録が行うことで、夜間の巡視時に移動しながら記録することが可能となった	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
覚醒状況に応じた居室訪問とすることで、利用者の睡眠時間の増加を図る。また全室巡視することなく効率的に居室訪問が出来ることで、夜勤職員の動線の削減の効果を期待している。	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
移動しながらの確認および記録が可能となり、夜間時間帯の介護職の動線削減は出来ている。また利用者様の睡眠リズムに則った排泄ケアを行うことで、睡眠時間の確保も一定程度の効果が見られている。今後は、呼吸数や心拍数の乱れの把握を行うことで、体調不良者の把握を早期に行うことで、入院者の軽減に努めていきたいと考えている。	

## 介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 ( 社会医療法人杏嶺会 )  
介護事業所名 ( 老人保健施設やすらぎ )  
介護保険事業所番号 ( 2352280024 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年2月17日	10台

(1) 介護ロボットの使用状況

既に同じ介護ロボットが導入されており (眠りスキャン20台) 今回追加の10台となる。100名定員のうち30名に眠りスキャンを設置することが出来るようになる。ご利用者の眠り状況の確認ができ、日中の活動量の増加に繋がっている。またインカム連携により、睡眠状況が常時把握が可能となっている。

(2) 介護ロボットの導入効果

ご利用者の生活リズムを把握し、排せつや離床など個別のタイミングでの支援が可能となっている。必要なケアを必要なタイミングで行えることやインカムと連携していることで、職員の業務負担軽減に繋がっている。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年1月11日（20台）、令和5年2月17日（10台）
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年1月11日
ICT機器の製品名	クリアトークカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成31年4月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンASP、すぐろくタブレット

④ 従前の介護職員等の人員体制	全フロアを統括する介護職員を毎日1名配置
-----------------	----------------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	全フロアを統括する介護職員を廃止
--	------------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	全フロアを統括する介護職員を一部廃止
--------------------------	--------------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	新型コロナウイルスの施設内蔓延により廃止まで至らず
------------------	---------------------------

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャンにて、利用者の睡眠状況や覚醒状況の把握ができ、インカムと連携していることで音声通知により、適切な時間での適切なケアと適切な人員配置が可能となる。  
介護記録ソフトにてパソコンの他、タブレットでの記録入力が可能であり、各職員が適宜記録入力を行うことができる。フロア間を移動することなく利用者の状況把握ができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

排せつの個別対応が可能となる。介護業務の分業化を推奨しており、直接業務は介護福祉士が行い、間接業務を無資格者で対応ができるよう、ケアの必要性を見直し、介護記録での情報共有が図られ、職員の誰がケアをしても同じ成果が得られるようにする。記録方法や申し送り業務の一元化、不必要なケアを省き時間を割り出すことで、適切な休憩時間が確保することができる体制をつくる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

老健の性質上、毎月新たなご利用者が入所されるが介護ロボット等の活用により介護の質が一定に保たれる。具体的な数値に基づき職員の業務内容の見直しが可能となり、業務負担の軽減を図ることが期待できる。